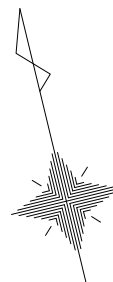
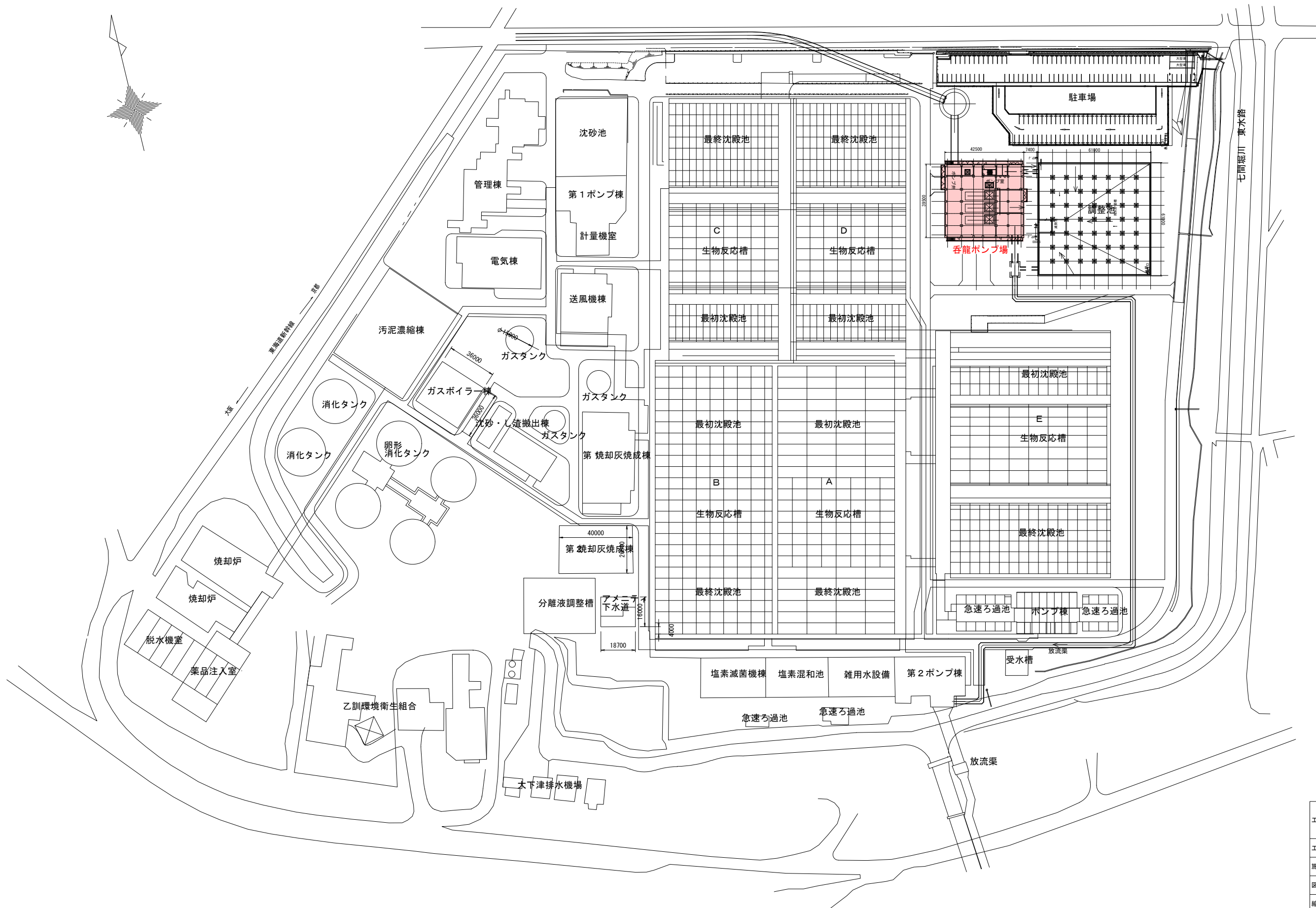


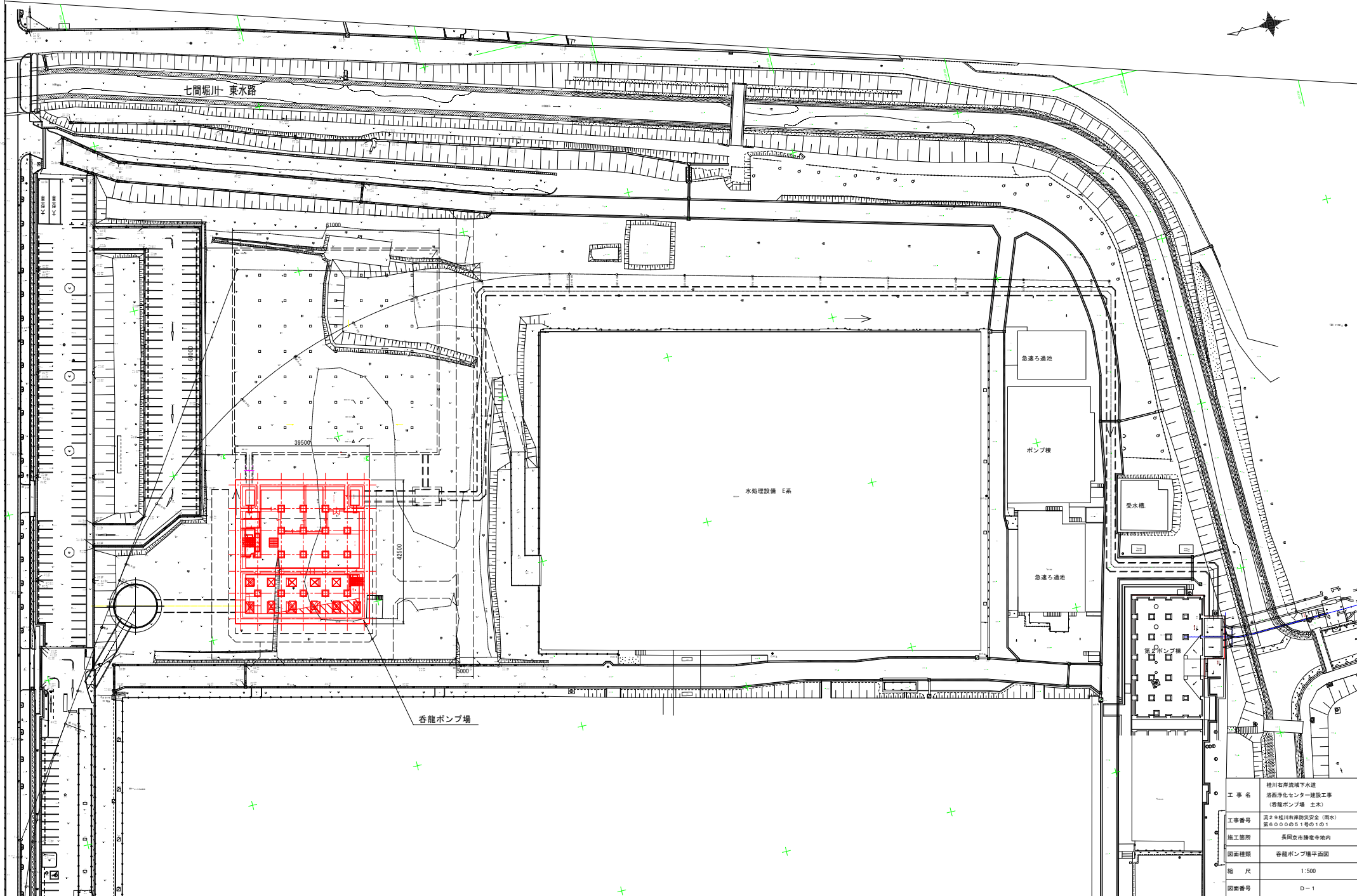
# 呑龍ポンプ場位置図

S=1:1000

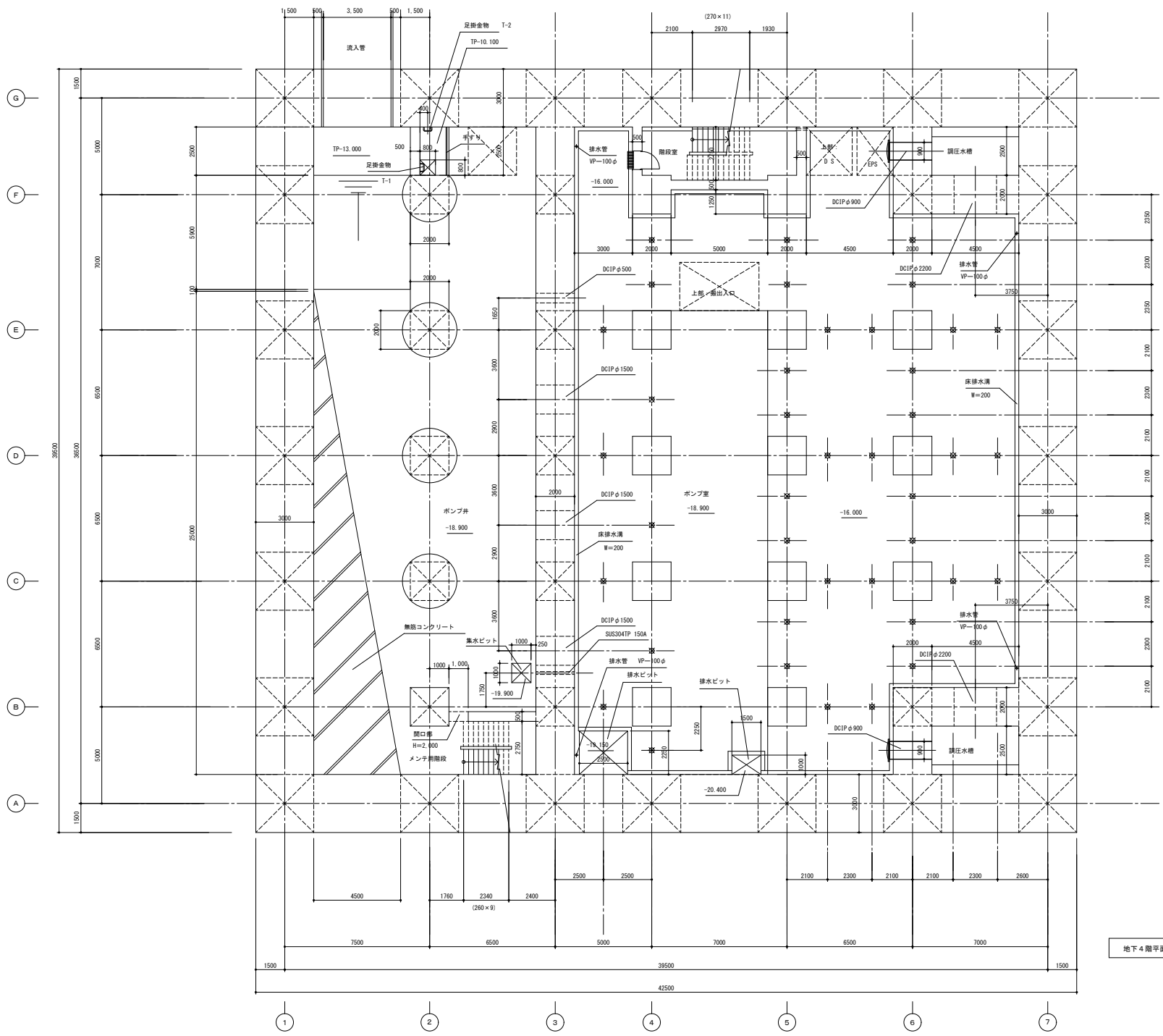


工事名	桂川右岸流域下水道 落西浄化センター建設工事 (呑龍ポンプ場 土木)
工事番号	流29桂川右岸防災安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市勝竜寺地内
図面種類	呑龍ポンプ場位置図
縮尺	1:1000
図面番号	

平面図 S=1:500



工事名	桂川右岸流域下水道 汚濁浄化センター建設工事 (呑龍ポンプ場 土木)
工事番号	表29桂川右岸防犯安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡吉市浄電寺地内
図面種類	呑龍ポンプ場平面図
縮尺	1:500
図面番号	D-1

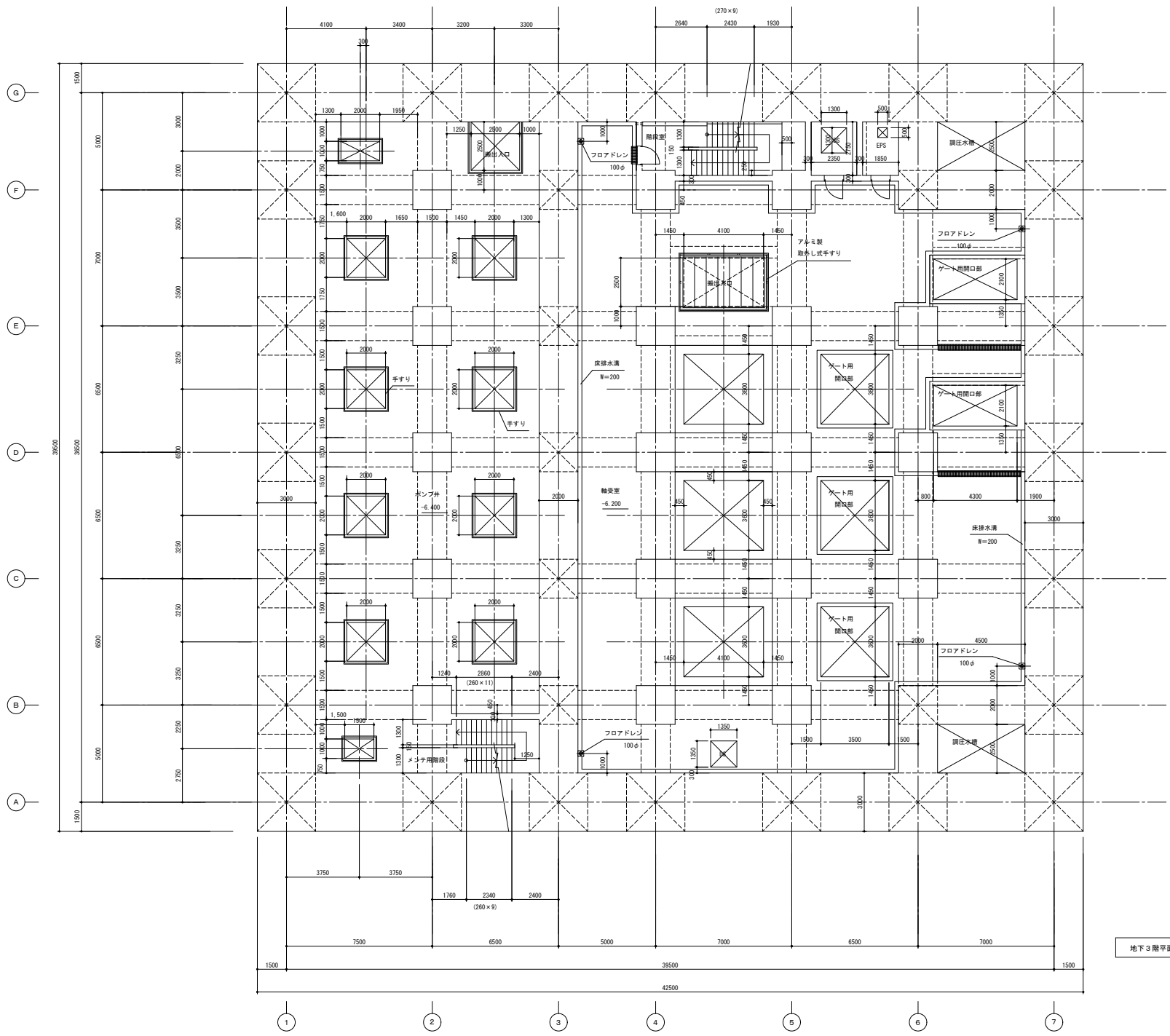


凡例

☒ 上部吊りフック位置を示す  
 全て 50N 用 計 40箇所

地下4階平面図 1/100

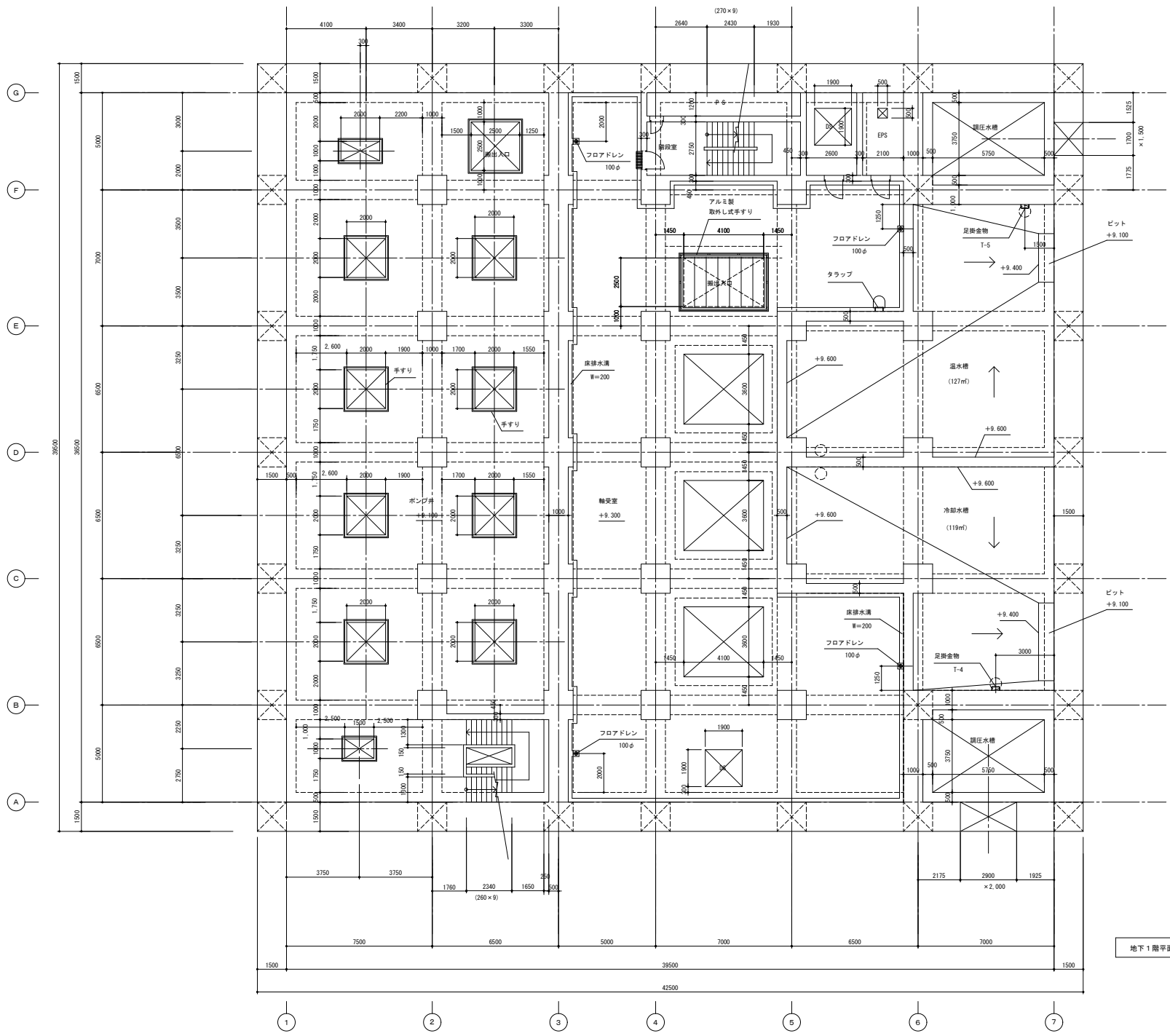
工事名	桂川右岸流域下水道 汚濁浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
起工番号	表20桂川右岸防災安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市勝竜寺地内
図面種類	地下4階平面図
縮尺	1:100
図面番号	D-2



地下3階平面図 1/100

工事名	桂川右岸流域下水道 汚濁浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
起工番号	表20桂川右岸防犯安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市勝竜寺地内
図面種類	地下3階平面図
縮尺	1:100
図面番号	D-3





地下1階平面図 1/100

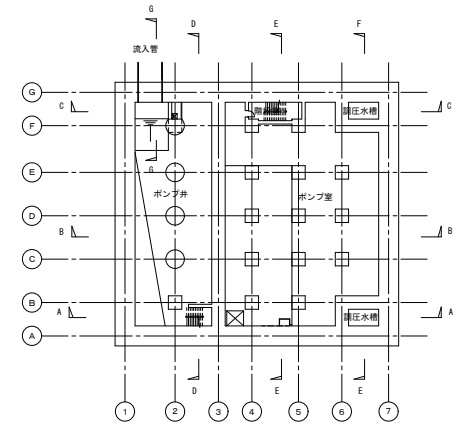
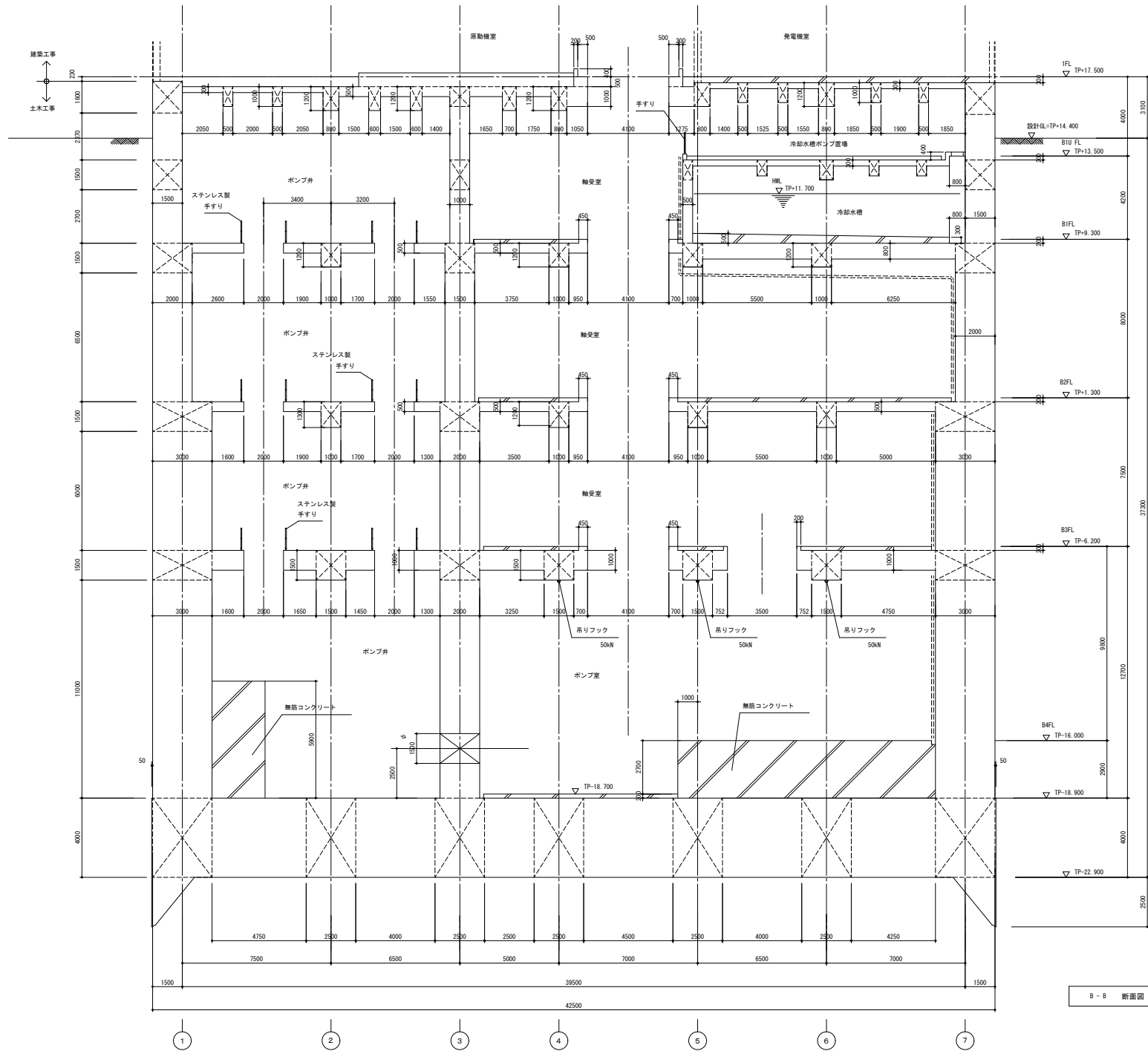
工事名	桂川右岸流域下水道 汚濁浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
起工番号	表20桂川右岸防犯安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市勝竜寺管内
図面種類	地下1階平面図
縮尺	1:100
図面番号	D-5





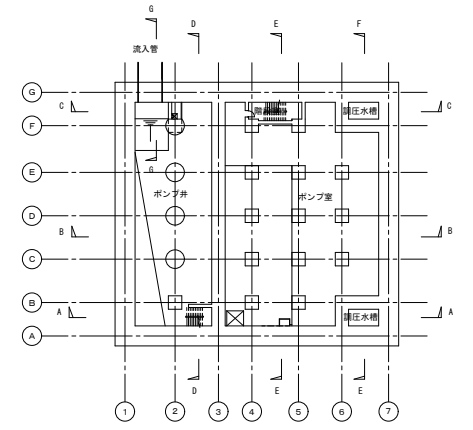
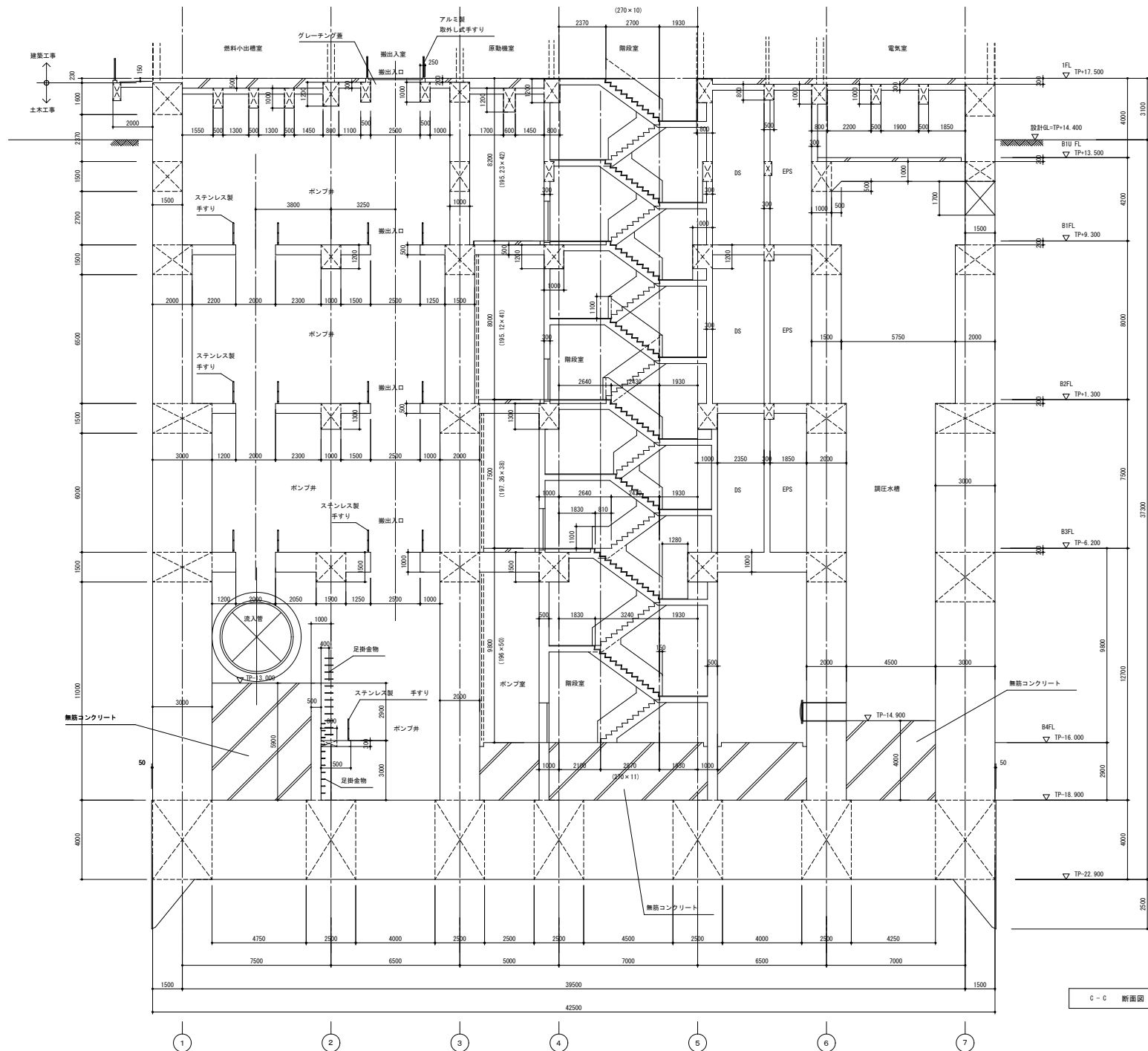






8-8 断面図 1/100

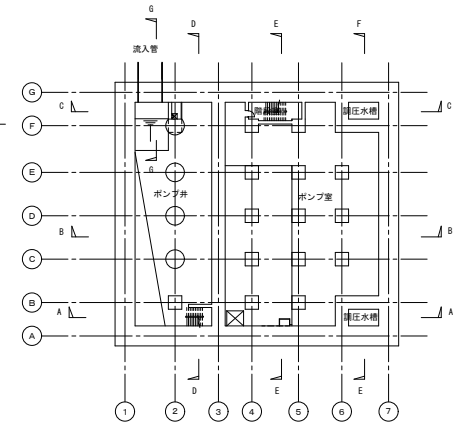
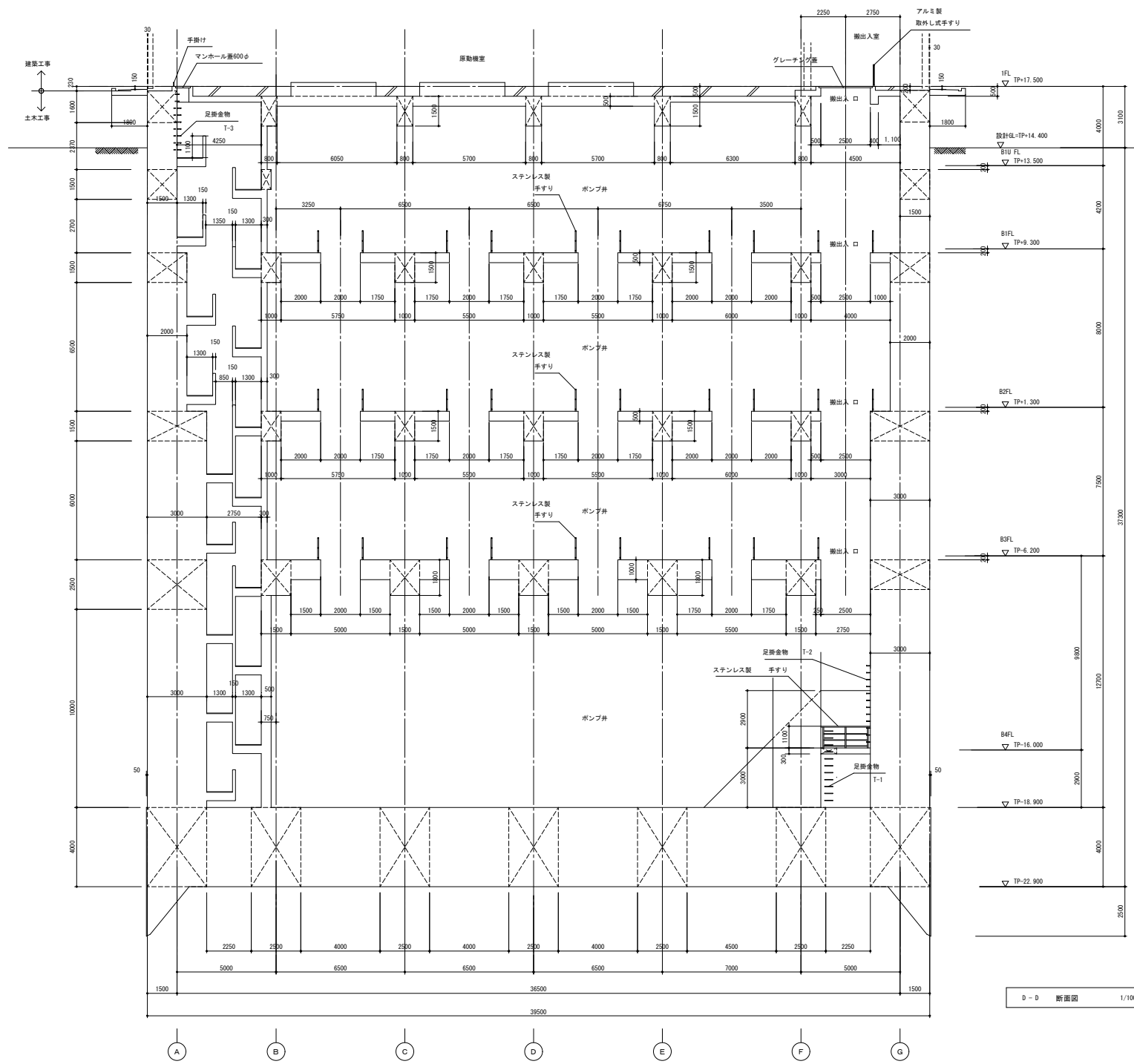
工事名	桂川右岸流域下水道 汚濁浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
起工番号	表2-9 桂川右岸防犯安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡吉市浄電寺地内
図面種類	断面図(2)
縮尺	1:100
図面番号	D-9



キープラン

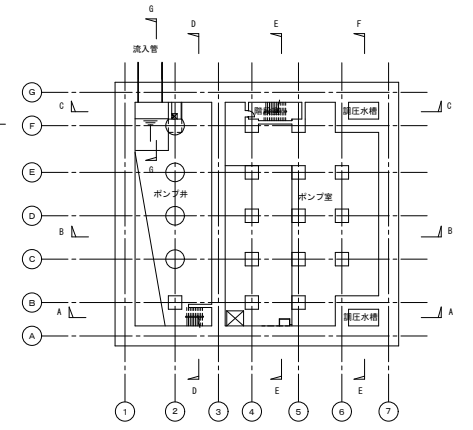
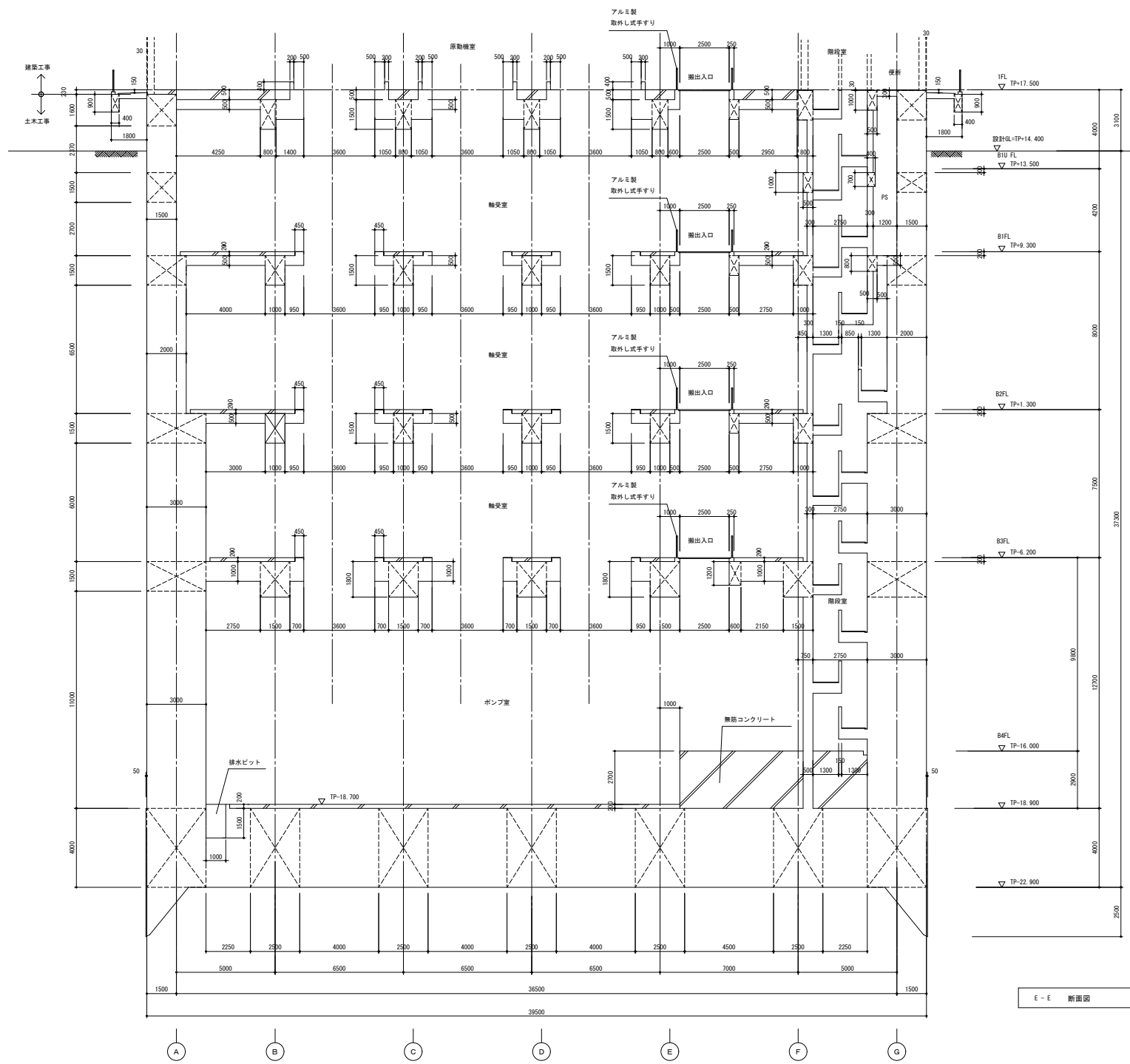
C-C 断面図 1/100

工事名	桂川右岸流域下水道 汚濁浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
起工番号	表20桂川右岸防犯安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡吉市浄電寺地内
図面種類	断面図(3)
縮尺	1:100
図面番号	D-10



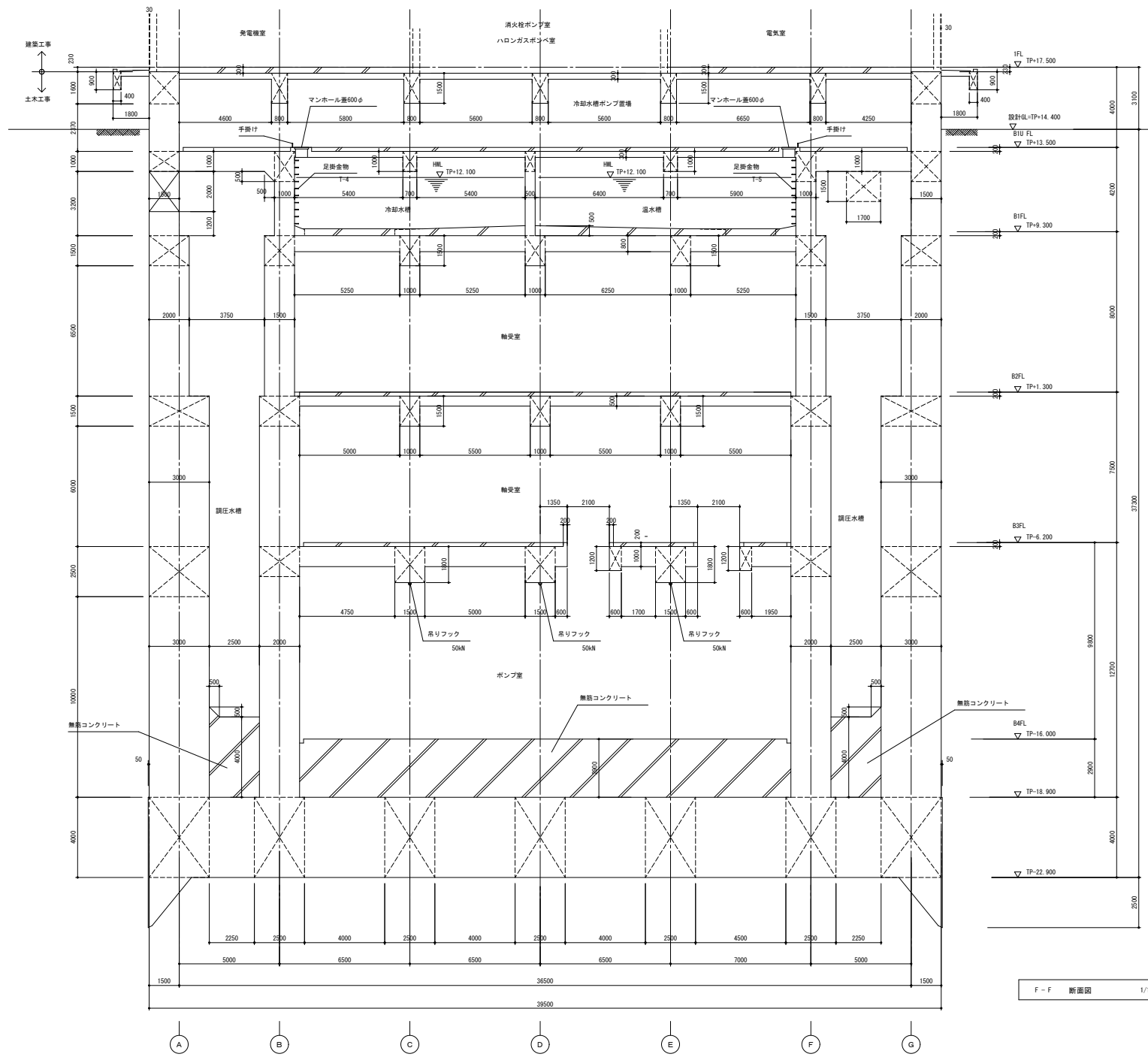
D-D 断面図 1/100

工事名	桂川右岸流域下水道 汚水浄化センター建設工事 (香龍ポンプ場 土木)
起工番号	表20桂川右岸防犯安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡吉市浄電寺地内
図面種類	断面図(4)
縮尺	1:100
図面番号	D-11

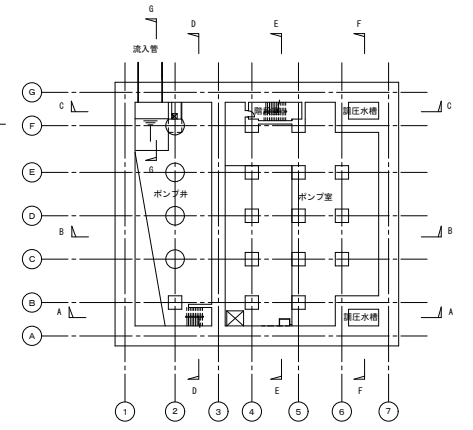


E - E 断面図 1/100

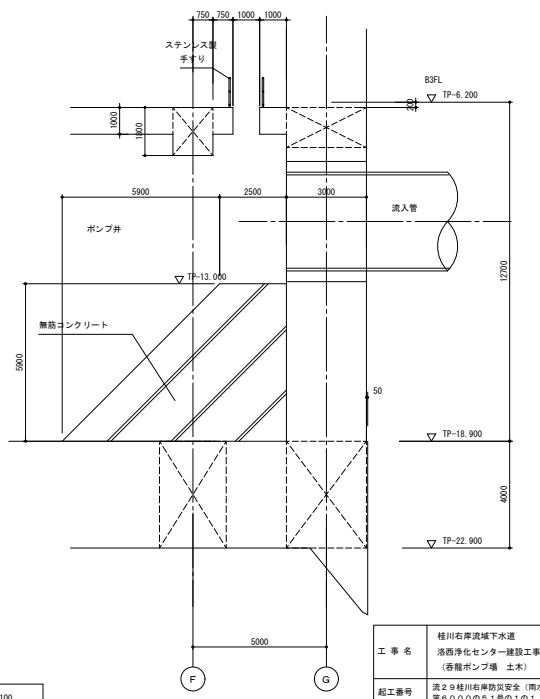
工事名	桂川右岸流域下水道 汚濁浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
起工番号	表20桂川右岸防犯安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡吉市浄電寺地内
図面種類	断面図(5)
縮尺	1:100
図面番号	D-12



F - F 断面図 1/100

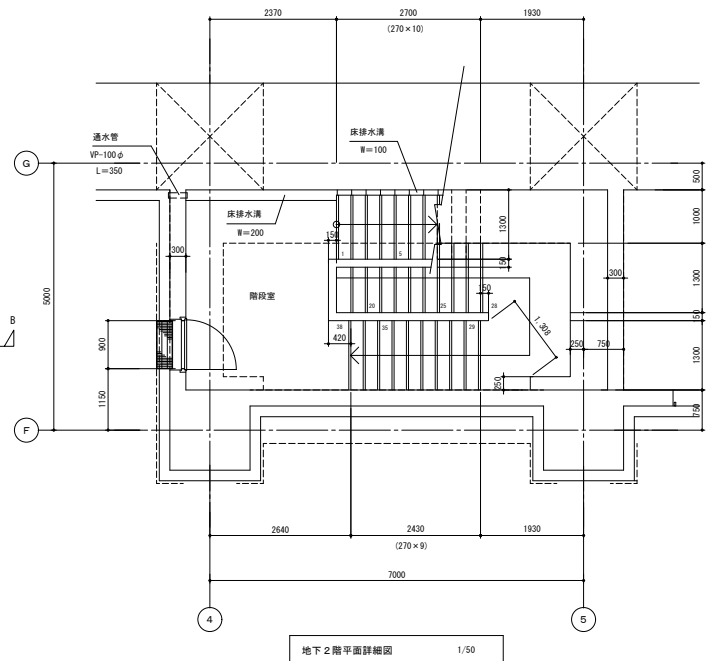
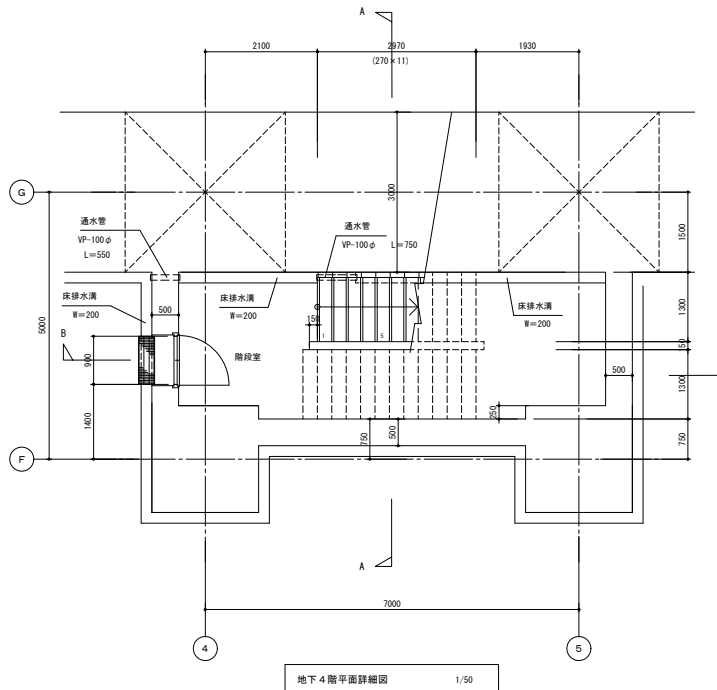
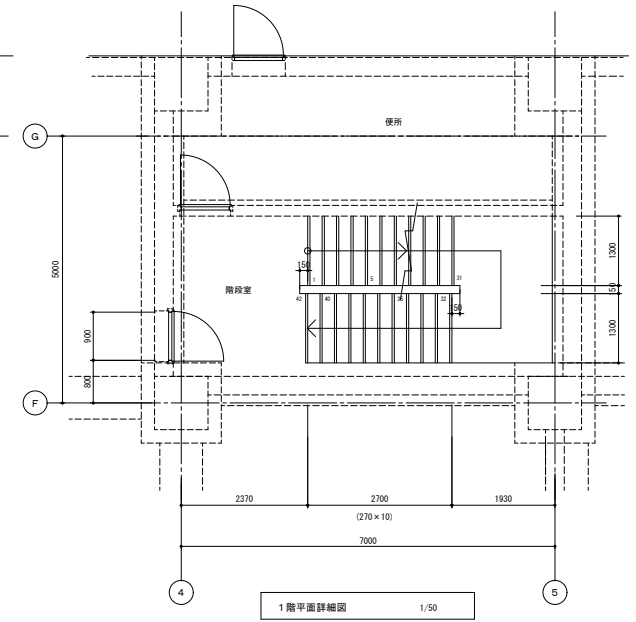
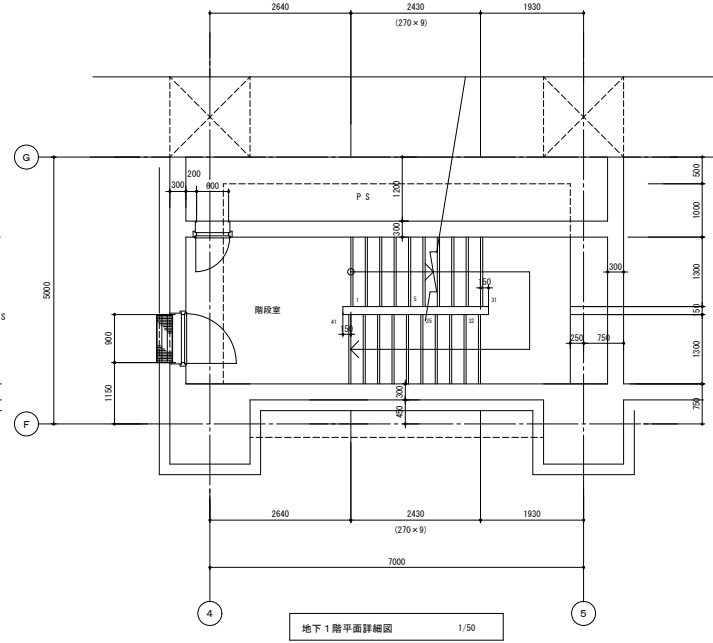
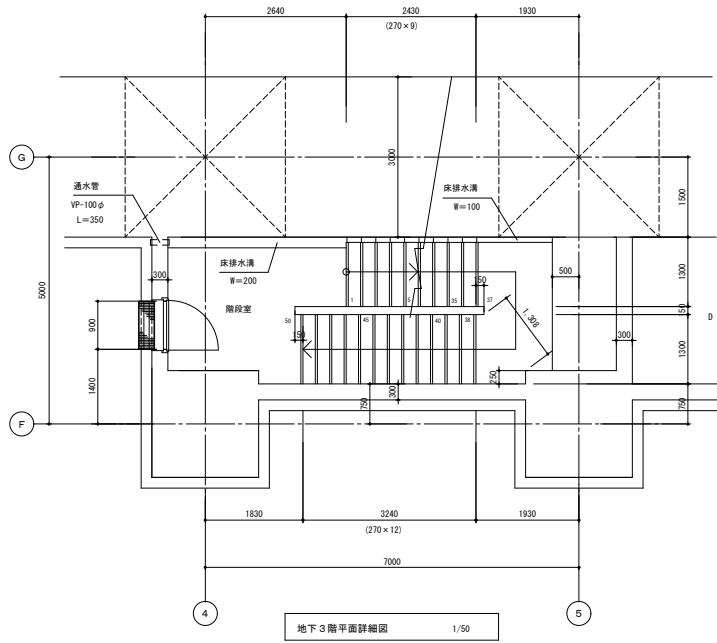


キープラン

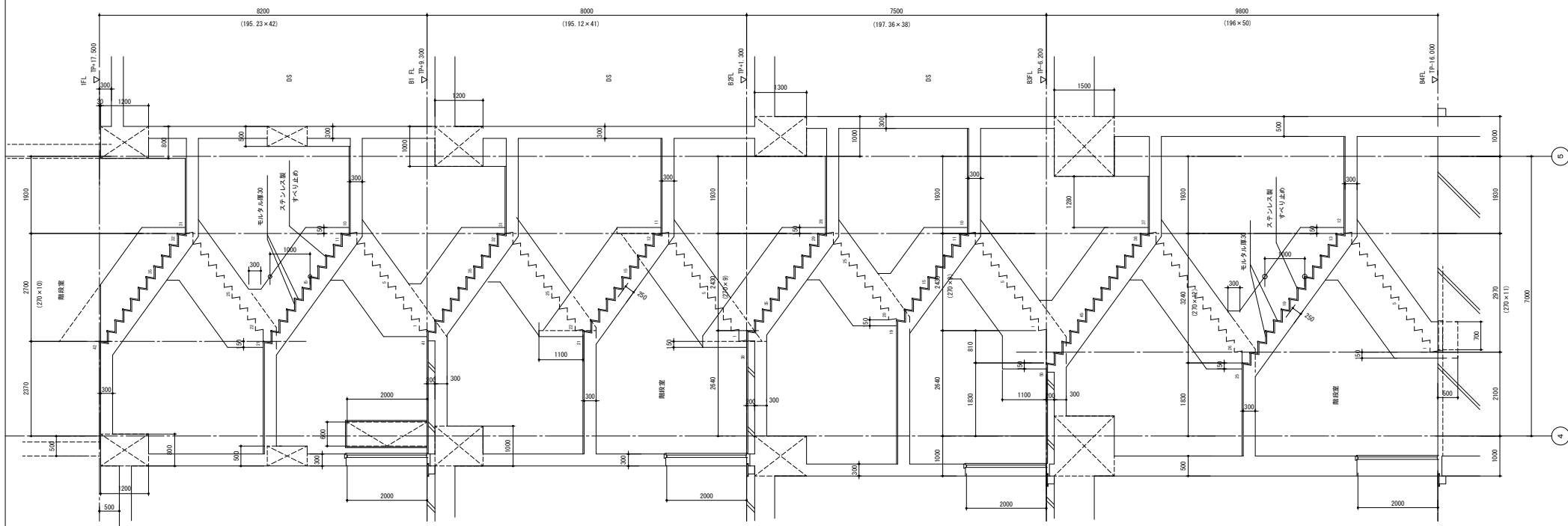
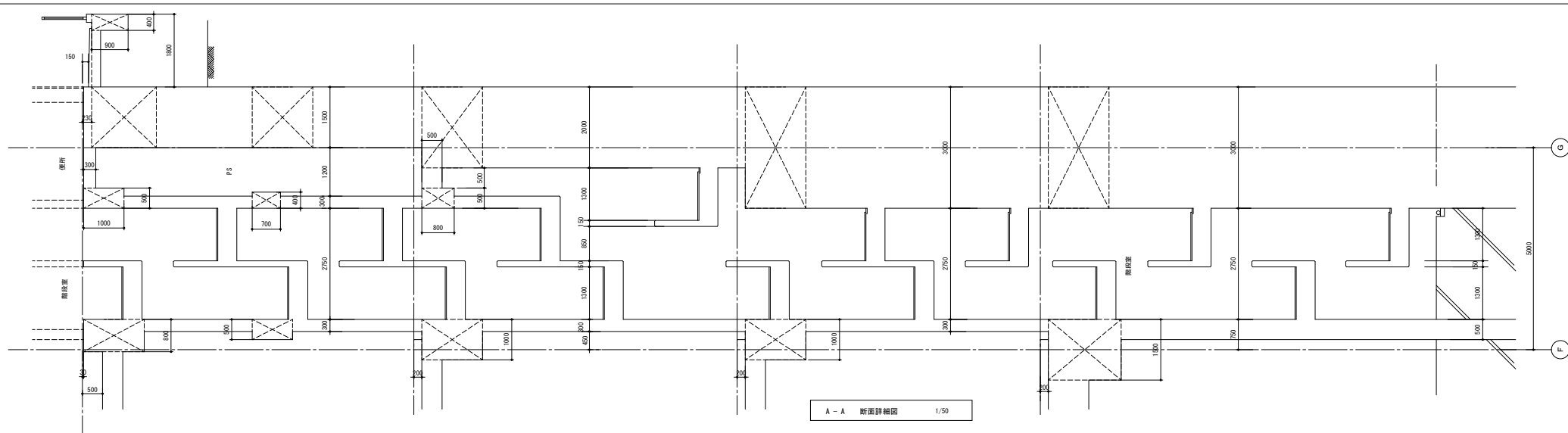


G - G 断面図 1/100

工事名	桂川右岸流域下水道 汚濁浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
起工番号	表2-9桂川右岸防犯安全(雨水) 家6000の51号の1の1
施工箇所	長岡吉市浄電寺地内
図面種類	断面図(6)
縮尺	1:100
図面番号	D-13



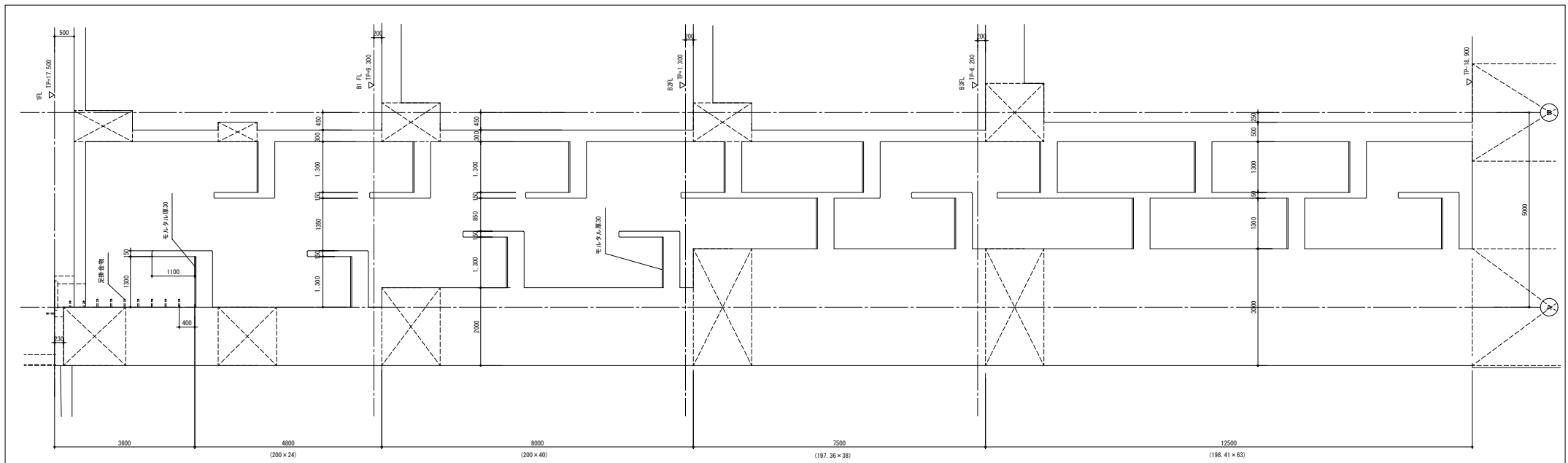
工事名	桂川右岸流域下水道 洛西浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
起工番号	第29桂川右岸防災安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市浄電寺地内
図面種類	階段室平面詳細図
縮尺	1:50
図面番号	D-14



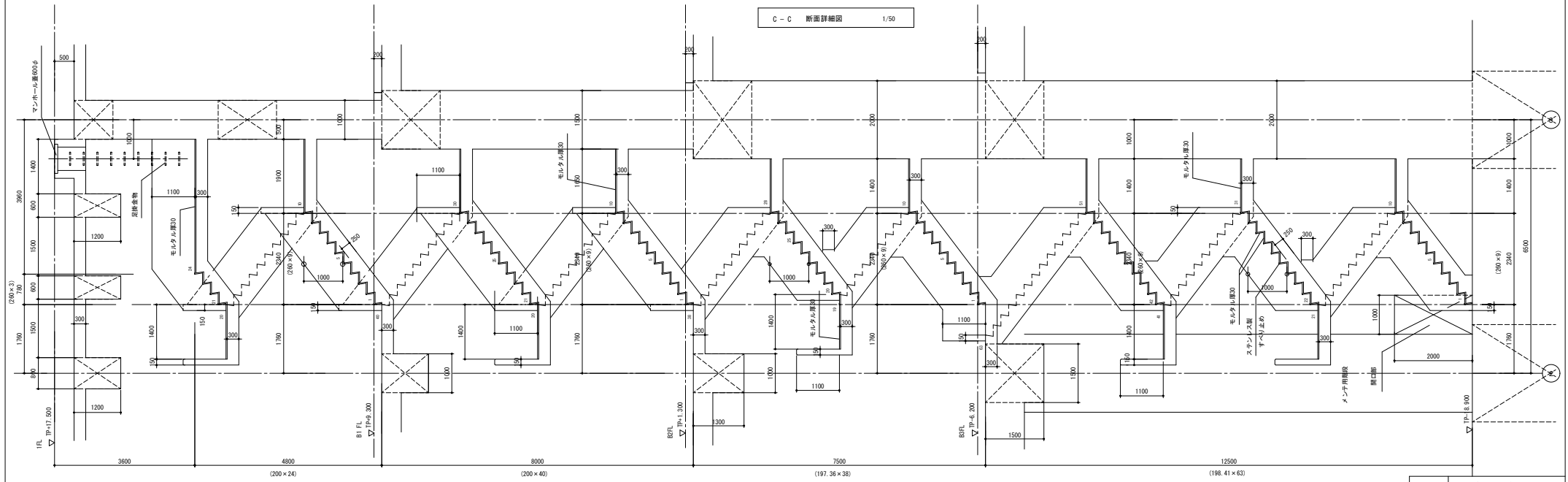
工事名	桂川右岸流域下水道 落着浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
起工番号	第29桂川右岸防災安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡吉市浄電寺地内
図面種類	階段室断面詳細図
縮尺	1:50
図面番号	D-15





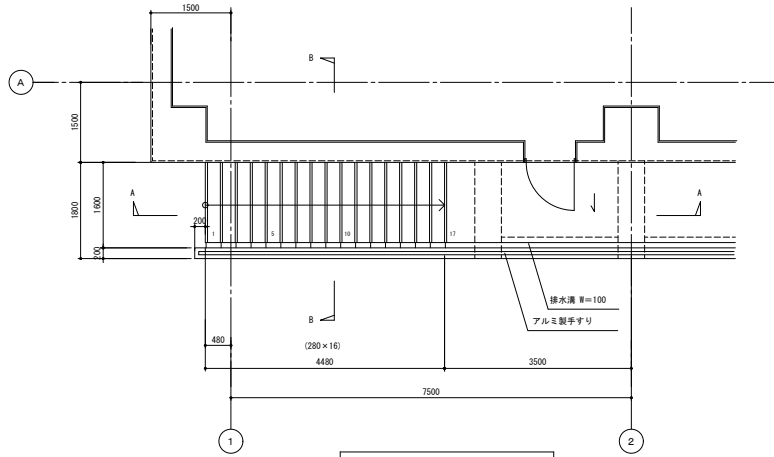


C - C 断面詳細図 1/50

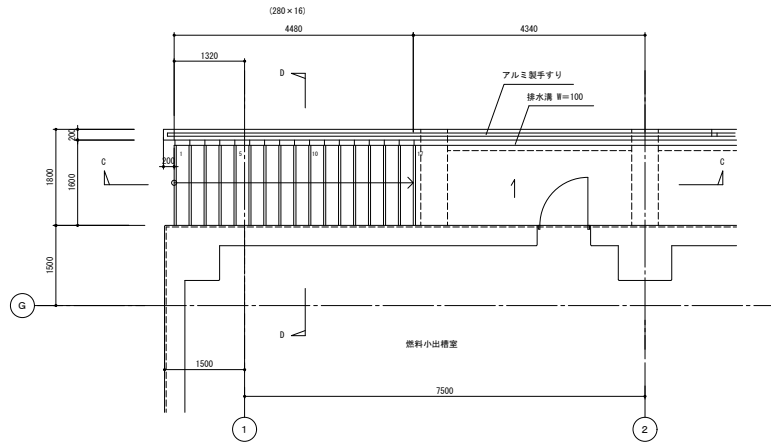


D - D 断面詳細図 1/50

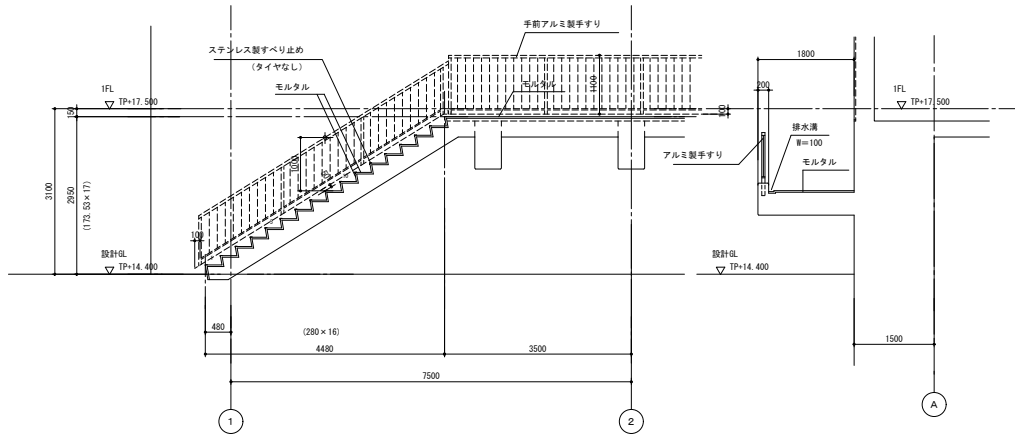
工事名	桂川右岸流域下水道 洛西浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
起工番号	第29桂川右岸防災安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市勝竜寺地内
図面種類	マンチ階段断面詳細図
縮尺	1:50
図面番号	D-17



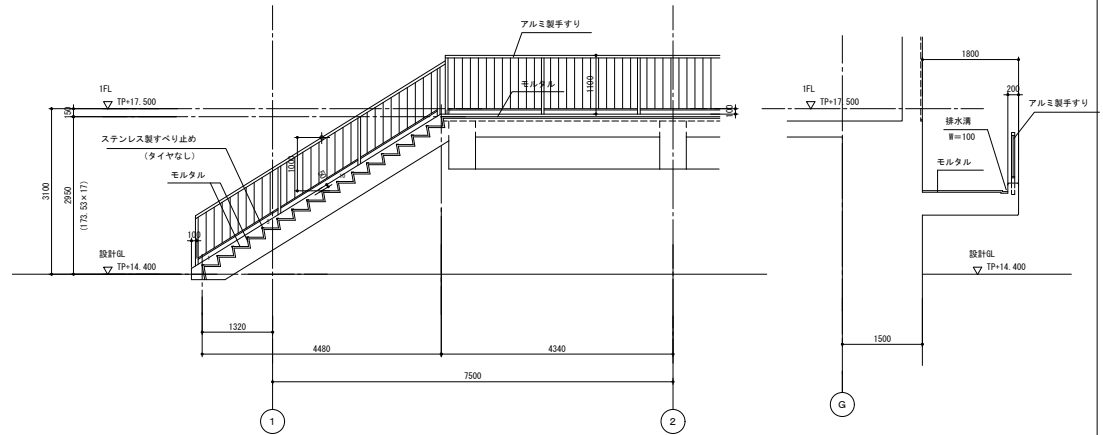
平面詳細図 1/50



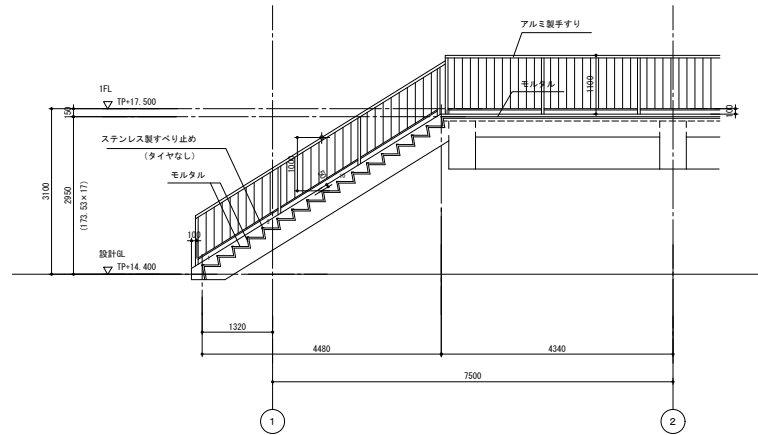
平面詳細図 1/50



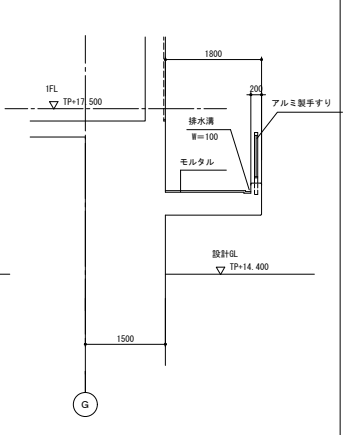
A - A 断面詳細図 1/50



B - B 断面詳細図 1/50



C - C 断面詳細図 1/50



D - D 断面詳細図 1/50

工事名	桂川右岸流域下水道 汚濁浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
竣工番号	第29桂川右岸防災安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市鎌倉寺地内
図面種類	外部階段平面・断面詳細図
縮尺	1:50
図面番号	D-18

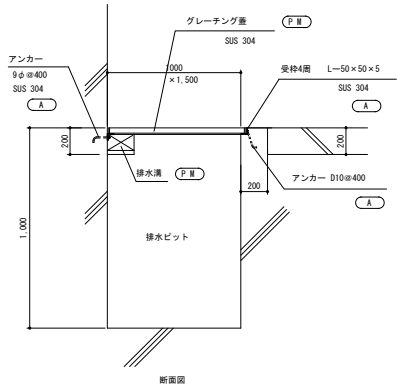
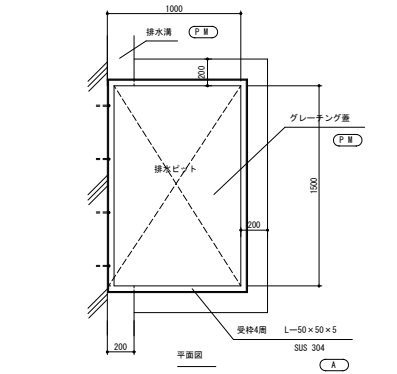
工事区分一覧表

(工事区分の記載事項については区分が不明確になる恐れのあるものについて記入する。)

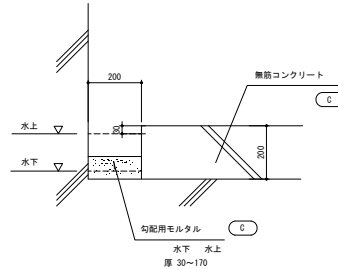
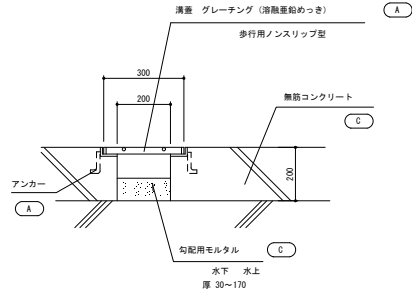
NO	項目	場所	建築工事	建築機械 設備工事	建築電気 設備工事	土木工事	プラント 機械 設備工事	プラント 電気 設備工事	備考	NO	項目	場所	建築工事	建築機械 設備工事	建築電気 設備工事	土木工事	プラント 機械 設備工事	プラント 電気 設備工事	備考	記載項目例
1	土工事					○				38	床搬入口蓋	B3階 軸受室 B1階 軸受室								・躯体 ・ポーチ
2	地盤工事					○				39	〃	1階 搬出入室								・捨コン ・審土
3	躯体					○				40	吊りフック	B4階 ポンプ室				○				・砂利地盤 ・足洗場
4	〃					○				41	床排水ピット蓋	B4階 ポンプ室					○			・止水板 ・スロープ
5	外部仕上げ		○							42	床排水ピット蓋受枠	B4階 ポンプ室								・スリーブ ・床流し
6	床無筋コンクリート	ポンプ井				○				43	階段すべり止め	B4階・B3階・B2階・B1階 階段室 ポンプ井メンテ用階段								・箱 抜 ・花 壇
7	〃	B4階 ポンプ室				○	○			44	床配管ピット及び蓋	1階 電気室 発電機室						○		・仕 上 ・流し台
8	〃	B4階 調圧水槽				○				45	床配線ピット及び蓋	1階 原動機室						○		・取合差筋 ・コンロ台
9	〃	B4階 階段室				○				46	〃	1階 燃料小出槽室						○		・マンホール蓋 ・水切網
10	〃	B3階 軸受室 B2階 軸受室 B1階 軸受室				○	○			47	原動機基礎	1階 原動機室						○		・ハンドホール ・吊戸網
11	〃	B3階 階段室 B2階 階段室 B1階 階段室				○				48	発電機基礎	1階 発電機室							○	・タラップ ・浴 槽
12	〃	B1階 冷却水槽 温水槽				○	○			49	取合い差し筋	1階 建築工事取合内部						○		・ホイストレール ・スノコ
13	〃	B1階上部 ポンプ置場				○	○			50	防油堤	1階 燃料小出槽室								・受枠及蓋 ・バランス蓋
14	〃	1階 原動機室					○			51	ルーフトレン									・ドレーン ・防水パン
15	〃	1階 燃料小出槽室					○			52	排水管									・樋 ・安全水槽
16	〃	1階 搬出入室	○							53	手すり	1階外部 搬入バルコニー								・換気扇取付枠 ・フード
17	〃	1階 電気室						○		54	コーナアングル	1階外部 搬入バルコニー								・床排水皿 ・配管トラフ
18	床仕上げ	B4階 ポンプ室 B3階 軸受室 B2階 軸受室 B1階 軸受室 B1階上部 ポンプ置場					○			55	ホイストレール	1階外部 搬出入室								・連通管 ・配管ピット
19	〃	1階 原動機室 1階 燃料小出槽室					○			56	建 具									・トックライト
20	〃	1階 電気室 1階 発電機室						○		57	雨水判・排水工事	外部								・ルーフファン ・防凍堤
21	〃	1階 搬出入室	○							58										・床無筋 コンクリート
22	〃	B4階・B3階・B2階・B1階 階段室 ポンプ井メンテ用階段								59										・床仕上げ
23	床排水溝 勾配モルタル	B4階 ポンプ室 B3階 軸受室 B2階 軸受室 B1階 軸受室 B1階上部 ポンプ置場				○				60										・機械基礎及差筋
24	〃	B4階・B3階・B2階・B1階 階段室								61										・階段室及段ウラ
25	〃	1階 搬出入室	○							62										・割 溝
26	床排水溝蓋グレーチング	B4階 ポンプ室 B3階 軸受室 B2階 軸受室 B1階 軸受室 B1階上部 ポンプ置場					○			63										・グレーチング
27	〃	1階 搬出入室	○							64										・手 摺
28	フロアドレン	B3階 軸受室 B2階 軸受室 B1階 軸受室 B1階上部 ポンプ置場					○			65										・雨水併
29	排水管	B4階 ポンプ室 B3階 軸受室 B2階 軸受室 B1階 軸受室					○			66										・安 木
30	足掛金物	ポンプ井				○				67										
31	〃	B1階 冷却水槽 温水槽				○				68										
32	足掛金物(手摺用)	B1階上部 ポンプ置場 1階 原動機室				○				69										
33	マンホール蓋	B1階上部 ポンプ置場 1階 原動機室				○				70										
34	タラップ	B1階 軸受室	○																	
35	手すり(ステンレス製)	ポンプ井	○																	
36	〃 (アルミ製取外式)	B3階 軸受室 B2階 軸受室 1階 原動機室 B1階 軸受室 B1階上部 ポンプ置場					○													
37	〃 (アルミ製取外式)	1階 搬出入室	○																	

工事名	程川右岸流域下水道 汚濁浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
起工番号	第29程川右岸防災安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市勝電寺地内
図面種類	工事区分一覧表
縮 尺	—
図面番号	D-19

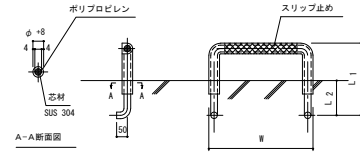
床排水ピット廻り 詳細図 1/20



床排水溝蓋 詳細図 1/10



足掛金物 詳細図 1/10



形状寸法表

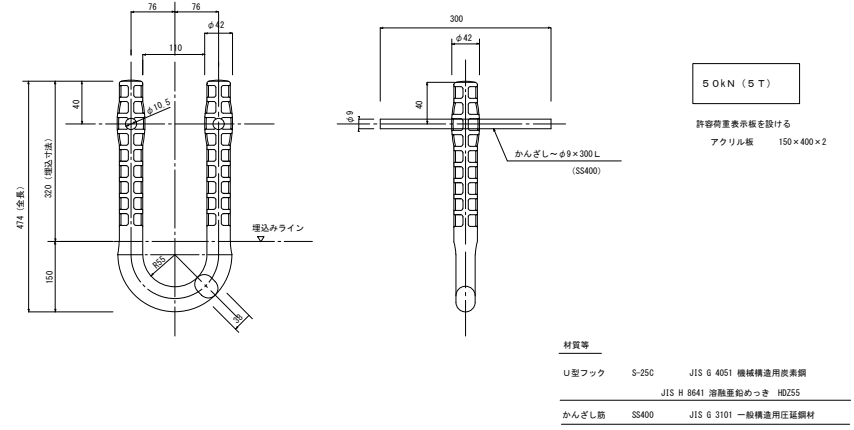
品種	有効巾	W	L1	L2	φ
ポリプロ	φ 300	300	250	100	19
ピレン	φ 400	400	300	150	22

- 注記
- 1) 壁に100mm以上埋め込む
  - 2) 足掛かり部のスリップ止めは150mm以上必要
  - 3) 350ピッチ取付けを原則とする
  - 4) ポリプロピレン製と同等品の市販品で上記仕様にする時は承認する
  - 5) 形状寸法表のうち ○印の有るものを適用する

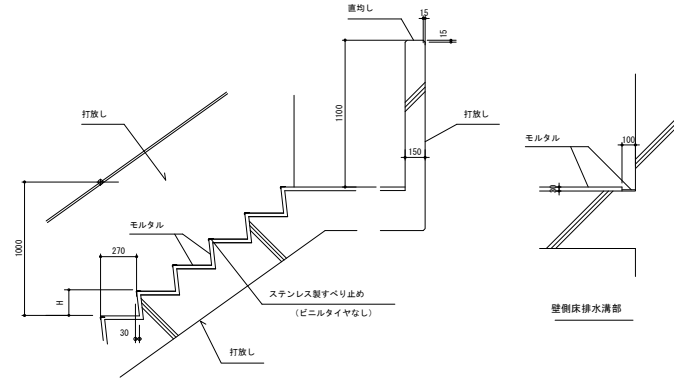
足掛金物リスト

符号	H	本数	箇所数	備考
T-1	3,000	11	1	ポンプ井
T-2	2,900	12	1	ポンプ井
T-3	3,600	9	1	ポンプ井階段
T-4	4,000	10	1	冷却水槽
T-5	4,000	10	1	温水槽
手掛け用	-	1	3	ポンプ置き場 原動機室

吊りフック 詳細図 1/5



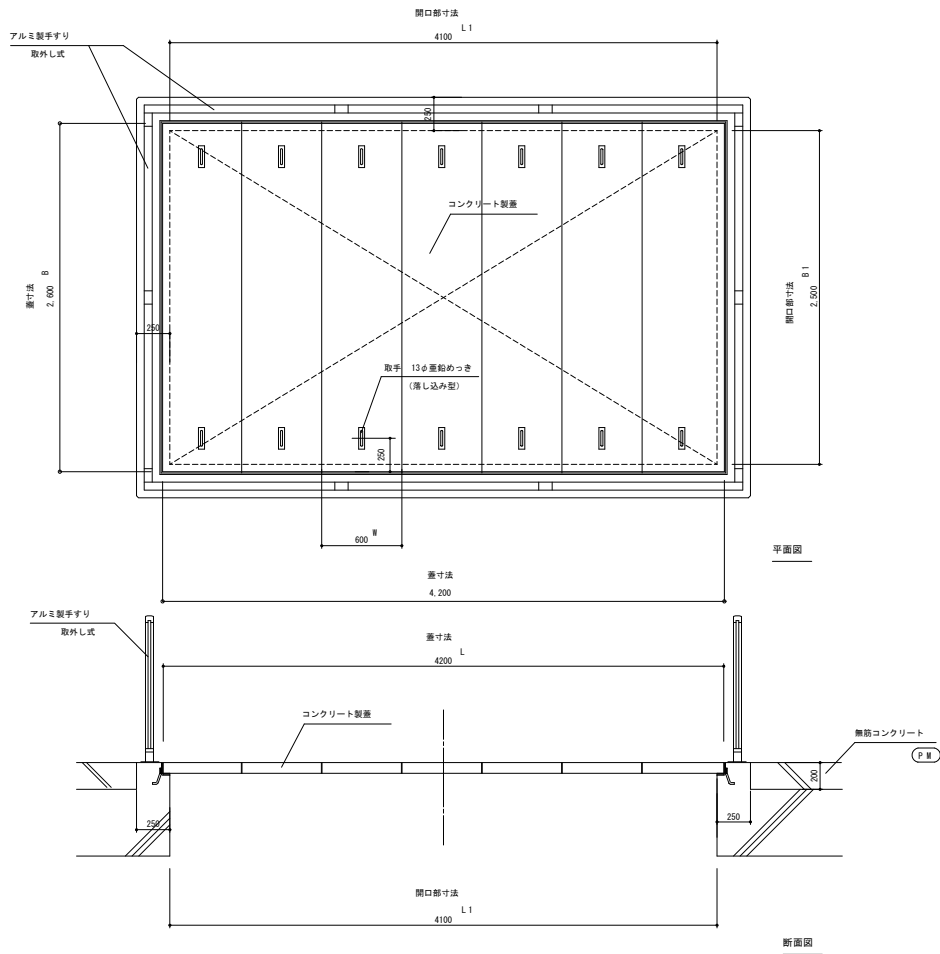
階段 詳細図 1/20



- 凡 例
- 土木工事
  - △ 建築工事
  - プラント機械設備工事

工事名	桂川右岸流域下水道 洛西浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
組工番号	第29桂川右岸防災安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市勝徳寺種ノ口地内
図面種類	部分詳細図(1)
縮 尺	1/5 1/10 1/20
図面番号	D-20



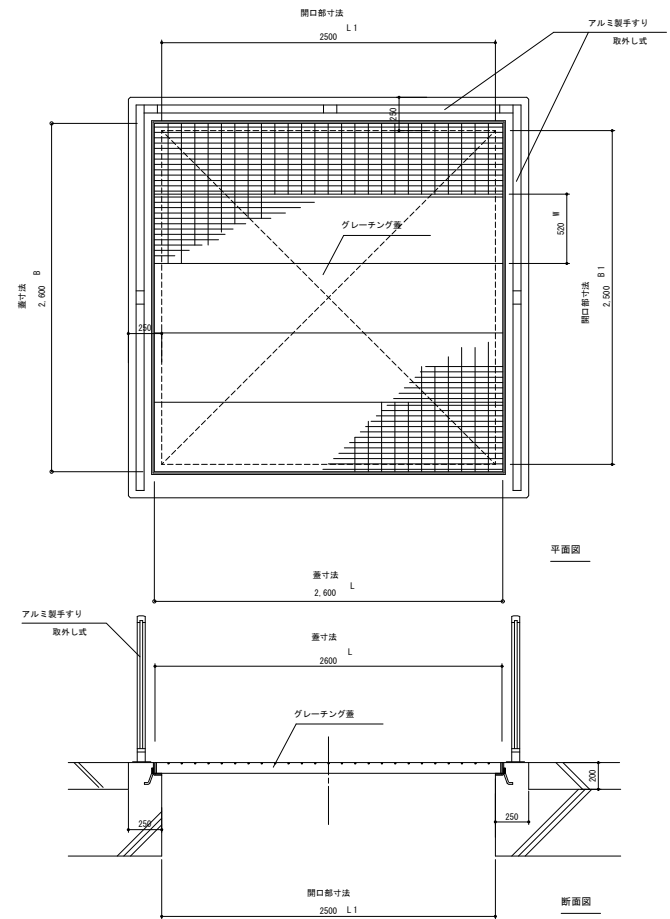


プレストレストコンクリート製蓋リスト

開口寸法		蓋寸法				新付枚数	箇所数
L1	B1	L	B	a	h		
4,100	2,500	4,200	2,600	50	80	7	4

特記事項

- 蓋の製作はプレストレストコンクリート設計施工指針または建築工事共通仕様書による。
- 受枠はSS400を標準とする。
- 取手は2個/枚とし、蓋には荷重表示を行う。
- 設計荷重は採用3.5kN/m<sup>2</sup>、又は中央部集中荷重1.0kN/枚のいずれか大きい荷重とする。
- 許容たわみは、L/400以下とする。
- 取手及び受枠の材質は、亜鉛メッキとする。



特記事項

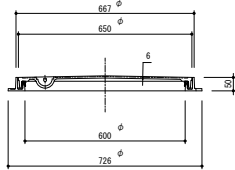
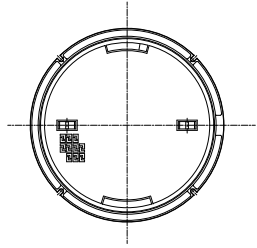
- グレーチング、枠は製造メーカーの仕様による。
- グレーチング、枠は同材質のものを使用する。
- 鋼製グレーチング及び受枠はJIS H 8641の2種S55の溶融亜鉛めっきとする。
- パッキングが必要な場合は受枠側に接着する。
- 設計荷重は多行用3.5kN/m<sup>2</sup>とする。
- 許容たわみは、多行用L/300以下とする。
- スベリ止め付とする。
- 荷重表示板を設置する。

凡例

- (C) 土木工事
- (A) 建築工事
- (PM) フラント機械設備工事

工事名	桂川右岸流域下水道 汚水浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
組工番号	流29桂川右岸防災安全(雨水) 第6000のS1号の1の1
施工箇所	長岡京市勝竜寺種ノ口地内
図面種類	部分詳細図(3)
縮尺	1/20
図面番号	D-2.2

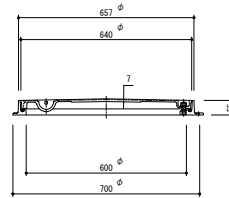
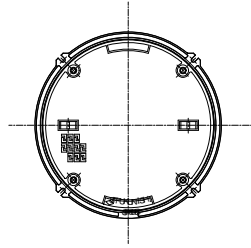
計 4 か所



仕様

鑄鉄製マンホールカバー  
 区分：軽荷重用  
 防水：簡易防水防臭型  
 破壊荷重：20kN (≒2,040kgf) 以上  
 防錆塗装仕上

計 1 か所



仕様

鑄鉄製マンホールカバー  
 区分：軽荷重用  
 防水：密閉式防水型  
 機能：ボルト固定式 (SUS304)  
 破壊荷重：20kN (≒2,040kgf) 以上

プレストレストコンクリート製蓋リスト

開口寸法		蓋寸法				前付枚数	箇所数
L 1	B 1	L	B	a	h		
4,100	2,500	4,200	2,600	50	80	7	4

特記事項

- 蓋の製作はプレストレストコンクリート設計施工指針または建築工事共通仕様書による。
- 受枠はSS400を標準とする。
- 取手は2個/枚とし、蓋には荷重表示を行う。
- 設計荷重は床用3.5kN/m<sup>2</sup>、又は中央部集中荷重1.0kN/枚の

いずれか大きい荷重とする

- 許容たわみは、L/400以下とする。
- 取手及び受枠の材質は、亜鉛メッキとする

特記事項

- グレーティング、枠は製造メーカーの仕様による。
- グレーティング、枠は同材質のものを使用する。
- 鋼製グレーティング及び受枠はJIS H 8641の2種SSの溶融亜鉛めっきとする。
- パッキンが必要な場合は受枠側に接着する。
- 設計荷重は歩行用3.5kN/m<sup>2</sup>とする。
- 許容たわみは、歩行用L/300以下とする。
- スベリ止め付とする。
- 荷重表示板を設置する。

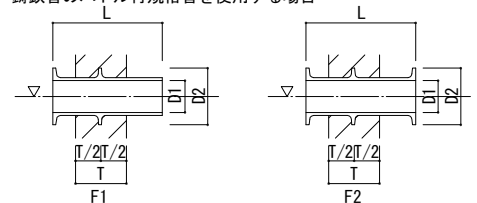
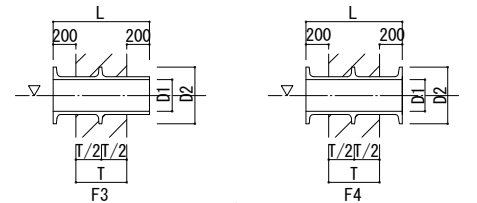
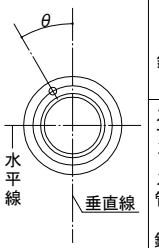
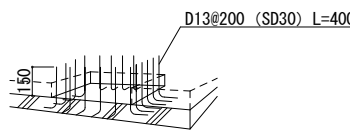
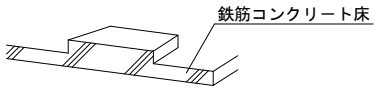
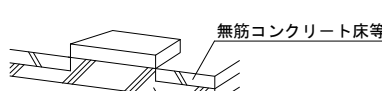
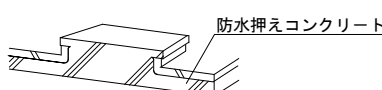
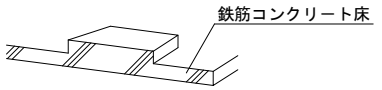
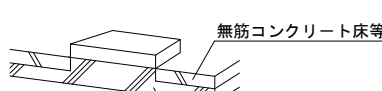
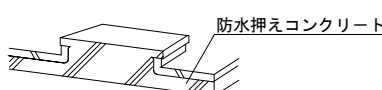
凡 例

- C 土木工事
- A 建築工事
- PM フラント機械設備工事

工 事 名	桂川右岸流域下水道 汚水浄化センター建設工事 (香籠ポンプ場 土木)
組工番号	流29桂川右岸防災安全(雨水) 第6000のS1号の1の1
施工箇所	長岡京市勝竜寺種ノ口地内
図面種類	部分詳細図(4)
縮 尺	1/10
図面番号	D-23



貫通孔、埋込管 及び 機器基礎仕様書

節	項目	特記事項	節	項目	特記事項	節	項目	特記事項	節	項目	特記事項														
1. 一般事項	1. 適用基準	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」平成25年版(以下、書という) 各部配筋参考図 4.4 5.5 7.1	3. 埋込管	2. 埋込管の形式	a) 鉄管のバドル付規格管を使用する場合  b) 規格外のバドル付短管を使用する場合  c) フランジ穴の取付け位置 	4. 機器基礎	B 4		5. その他	1. リスト記入方法 a) 符号は 1. 一般事項 4. 符号による。 b) 寸法 1) 貫通孔については、形状寸法を記入する。 (例) φ400 300L×500W 2) 埋込管については、形状寸法を記入する。 (例) φ400 × 800L 3) 基礎については、形状寸法及び仕上り面よりの立ち上り高さを記入する。又、B 4 無筋コンクリートを抜く場合は、形状寸法及び無筋コンクリート厚さを記入する。 (例) 500W×400L×100H c) 材料-形式は一印の前に材料を指示し、後に形式を指示する。 (例) S1- P1-F1 -B1 d) 床・壁の区分 1) 壁部分は壁印を、床部分の場合は床に 印を記入する。 e) 位置の表示は、下記による。 1) 壁部分の位置・・・平面は、最寄り通り芯よりの寸法を記入し高さは、基準面(※ TP・YP・AP)より高さ表示とする。 (例)   ② → ① 800   ○ → ○ +8,500   2) 床部分の位置表示は、最寄り通り芯よりの寸法を記入する。 (例)   ④ → ⑥ 2,400   ③ → ② 800   3) 位置の表示は、それぞれの施工芯表示とする。 f) 備考欄には配管系統等を記入する。															
	2. 施工図等	配管・配線系統を打ち合せ、位置・寸法及び方向を検討し、施工図を速やかに監督員に提出し、承諾を受ける。		3. 発生材の処理	a) 発生材のうち、特記により引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ、調書を添えて引き渡す。 b) 引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し関係法令等に従い適切に処理する。						4. 符号	各設備に用いる符号は下記とする。 (例) AM・S-1 貫通孔の形状の符号 S・・・貫通孔(コンクリート打設後撤去するもの) P・・・埋込管(撤去しないもの) B・・・基礎 各設備の符号 AM・・・建築機械設備 AE・・・建築電気設備 PM・・・プラント機械設備 PE・・・プラント電気設備	5. 開口補強	a) 開口補強方法については、書5章鉄筋工事・開口補強による。 1) 壁開口補強 ※A型・B型 但し、耐震壁は図示による。 2) 床版開口補強は、書 5.5による。 3) 梁貫通孔の補強は特記による。特記がなければ、書 7.1 7.2 による。	6. 工法	a) 貫通孔、埋込管は、寸法・位置に充分注意して堅固に取り付ける b) 埋込管を水槽・外壁に取付ける場合は、漏水のないように、充分考慮し施工する。	7. 特記事項	a) 印のついたものを適用する。○印のない場合は※印のあるものを適用する。又、○印と◎印のある場合は共に適用する。							
貫通孔	1. 材料、材質	a) 貫通孔に用いる材料は共通仕様書 2.2. 2. 3による。 b) 貫通孔の材料	4. 機器基礎	1. 分類	a) 基礎の分類は下記による <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B 1</td> <td>鉄筋コンクリート立ち上り基礎</td> </tr> <tr> <td>B 2</td> <td>無筋コンクリート部分等の基礎</td> </tr> <tr> <td>B 3</td> <td>防水層部分の立ち上り基礎</td> </tr> <tr> <td>B 4</td> <td>土木・建築で差し筋のみを施す場合</td> </tr> </tbody> </table>	記号	形状	B 1	鉄筋コンクリート立ち上り基礎	B 2	無筋コンクリート部分等の基礎	B 3	防水層部分の立ち上り基礎	B 4	土木・建築で差し筋のみを施す場合	B 4	B 1  B 2  B 3 	注) 貫通レベル及び機械基礎は仮決めです。							
	記号	形状																							
B 1	鉄筋コンクリート立ち上り基礎																								
B 2	無筋コンクリート部分等の基礎																								
B 3	防水層部分の立ち上り基礎																								
B 4	土木・建築で差し筋のみを施す場合																								
2. 次期工事の貫通孔処理	a) 次期発注の外壁・床版貫通孔及び仮補強筋は、下記による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>S 1</th> <th>S 2</th> <th>S 3</th> <th>S 4</th> <th>S 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料</td> <td>鋼管</td> <td>硬質塩ビ管</td> <td>熔融亜鉛メッキ鋼板</td> <td>つば付銅板</td> <td>紙製型枠</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>S 6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>木製型枠</td> </tr> </tbody> </table>	記号	S 1	S 2	S 3	S 4	S 5	材料	鋼管	硬質塩ビ管	熔融亜鉛メッキ鋼板	つば付銅板	紙製型枠						S 6						木製型枠
記号	S 1	S 2	S 3	S 4	S 5																				
材料	鋼管	硬質塩ビ管	熔融亜鉛メッキ鋼板	つば付銅板	紙製型枠																				
					S 6																				
					木製型枠																				
埋込管	1. 材料、材質	a) 埋込管に用いる材料は、下記のものとする。 埋込管の材料	4. 機器基礎	1. 分類	a) 基礎の分類は下記による <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B 1</td> <td>鉄筋コンクリート立ち上り基礎</td> </tr> <tr> <td>B 2</td> <td>無筋コンクリート部分等の基礎</td> </tr> <tr> <td>B 3</td> <td>防水層部分の立ち上り基礎</td> </tr> <tr> <td>B 4</td> <td>土木・建築で差し筋のみを施す場合</td> </tr> </tbody> </table>	記号	形状	B 1	鉄筋コンクリート立ち上り基礎	B 2	無筋コンクリート部分等の基礎	B 3	防水層部分の立ち上り基礎	B 4	土木・建築で差し筋のみを施す場合	B 4	B 1  B 2  B 3 	注) 貫通レベル及び機械基礎は仮決めです。							
	記号	形状																							
B 1	鉄筋コンクリート立ち上り基礎																								
B 2	無筋コンクリート部分等の基礎																								
B 3	防水層部分の立ち上り基礎																								
B 4	土木・建築で差し筋のみを施す場合																								
2. 次期工事の貫通孔処理	a) 次期発注の外壁・床版貫通孔及び仮補強筋は、下記による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>P 1</th> <th>P 2</th> <th>P 3</th> <th>P 4</th> <th>P 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料</td> <td>ステンレス管</td> <td>鋼管</td> <td>鋳鉄管</td> <td>塩ビ管</td> <td>ライニング鋼管</td> </tr> </tbody> </table>	記号	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	材料	ステンレス管	鋼管	鋳鉄管	塩ビ管	ライニング鋼管												
記号	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5																				
材料	ステンレス管	鋼管	鋳鉄管	塩ビ管	ライニング鋼管																				

注) 貫通レベル及び機械基礎は仮決めです。

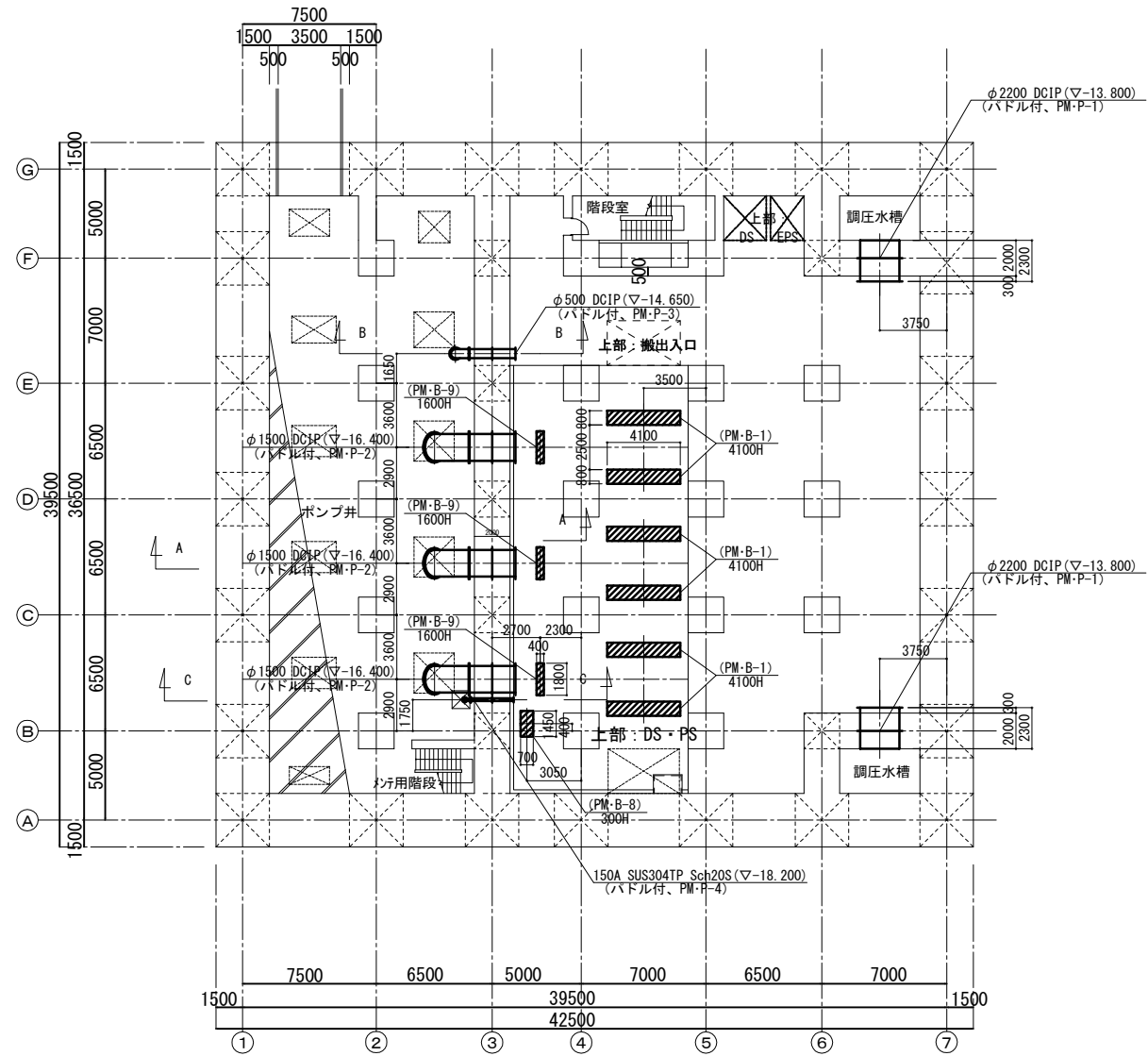
工事名	桂川右岸流域下水道 洛西浄化センター建設工事 (呑龍ポンプ場 土木)
起工番号	流29桂川右岸防災安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市呑龍寺地内
図面種類	貫通孔、埋込管及び機器基礎仕様書
縮尺	-
図面番号	D-24

貫通孔、埋込管 及び 機器基礎リスト

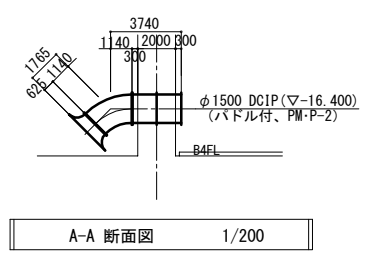
符 号	形 状 寸 法	壁	床	用 途	材 料 形 式	位 置	数 量	備 考	符 号	形 状 寸 法	壁	床	用 途	材 料 形 式	位 置	数 量	備 考	
PM・P-1	220φ × 2300	○	・	排水管	P3	○→○ 図示	2	バドル付	・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・P-2	1500φ × 3740+1765	○	・	排水管	P3	○→○ 図示	3	バドル付	・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・P-3	500φ × 3361+1261	○	・	排水管	P3	○→○ 図示	1	バドル付	・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・P-4	150A × 2750+1200	○	・	残水排水管	P1	○→○ 図示	1	バドル付	・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・P-5	125A × 1900	○	・	残水排水管	P1 F4	○→○ 図示	1	バドル付	・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・P-6	80A × 1400	○	・	床排水管	P1 F4	○→○ 図示	1	バドル付	・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-1	250φ ×	・	○	床排水管	S5	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-2	300φ ×	・	○	残水排水管	S5	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-3	250φ ×	・	○	床排水管	S5	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-4	300φ ×	・	○	残水排水管	S5	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-5	250φ ×	・	○	床排水管	S5	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-6	300φ ×	・	○	残水排水管	S5	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-7	250φ ×	・	○	床排水管	S5	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-8	300φ ×	・	○	残水排水管	S5	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-9	600φ ×	・	○	冷却水ポンプ	S5	○→○ 図示	5		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-10	600φ ×	・	○	温水ポンプ	S5	○→○ 図示	3		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-11	500φ ×	・	○	冷却水管	S5	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-12	500 × 1400	・	○	冷却水戻り管	S6	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-13	600 × 3000	・	○	冷却水管他	S6	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-14	300φ ×	○	・	燃料管	S5	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-15	300φ ×	○	・	通気管	S5	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-16	300 × 800	○	・	燃料管	S6	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・S-17	600 × 3000	○	・	冷却水管他	S6	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
PM・B-1	4100×800×4100H×2	・	・	排水、揚水ポンプ	B4	○→○ 図示	3		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ - 2	10150×4300×700H	・	・	排水、揚水ポンプ 原動機	B4	○→○ 図示	3		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ - 6	図示×400H	・	・	防油堤	B4	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ - 7	800×500×400H	・	・	燃料移送ポンプ	B4	○→○ 図示	3		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ - 8	700×1450×300H	・	・	残水排水ポンプ	B4	○→○ 図示	1		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ - 9	400×1800×1600H	・	・	排水、揚水ポンプ 吸込弁	B4	○→○ 図示	3		・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		
・ -	×	・	・		-	○→○			・ -	×	・	・		-	○→○	○→○		

注) 貫通レベル及び機械基礎は仮決めです。

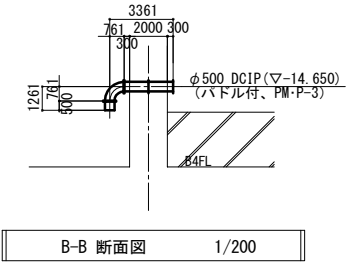
工 事 名	桂川右岸流域下水道 洛西浄化センター建設工事 (呑龍ポンプ場 土木)
起工番号	流29桂川右岸防災安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市勝竜寺地内
図面種類	貫通孔、埋込管及び機器基礎リスト
縮 尺	-
図面番号	D-25



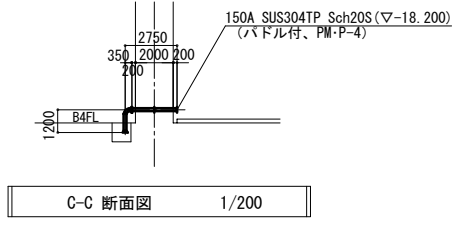
地下4階平面図 1/200 (A3)



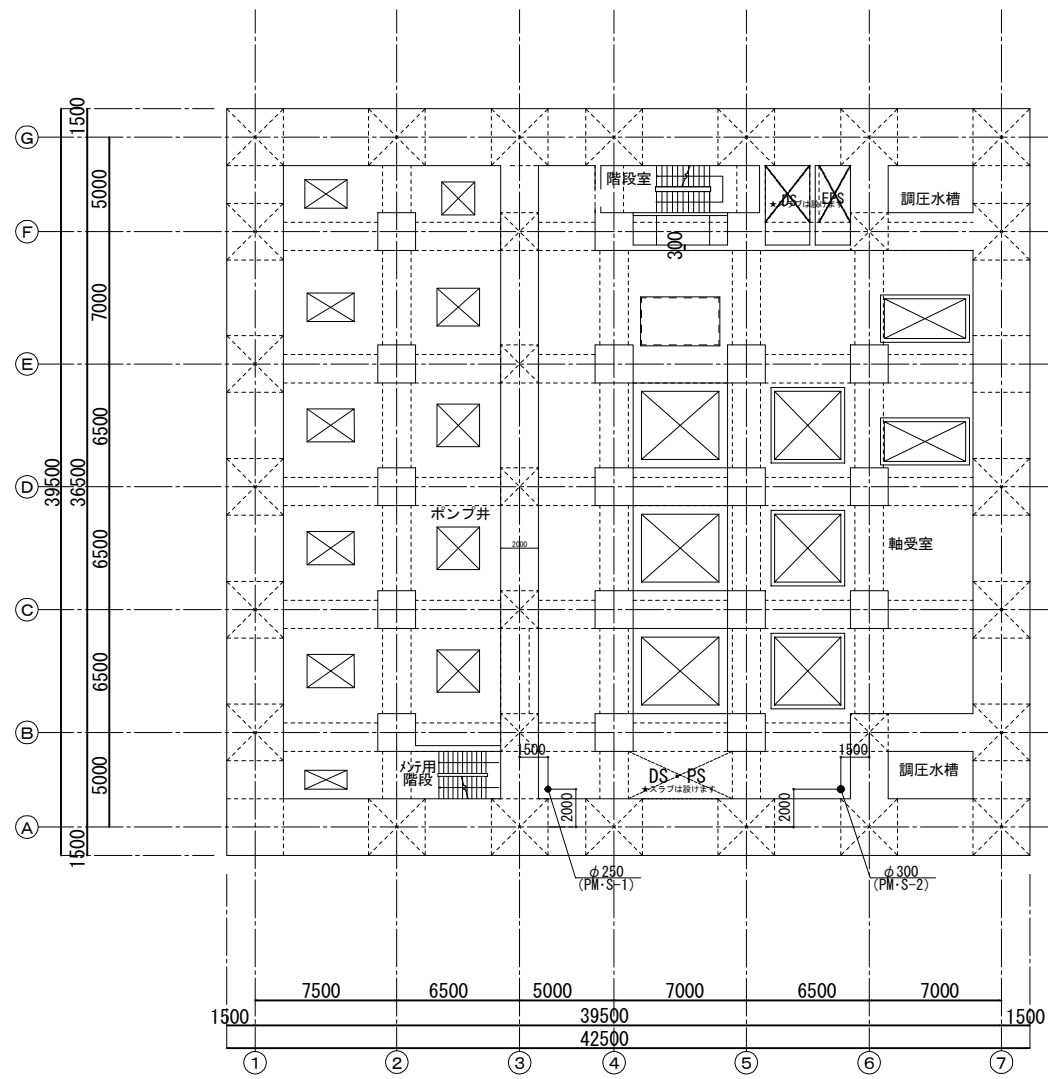
A-A 断面図 1/200



B-B 断面図 1/200



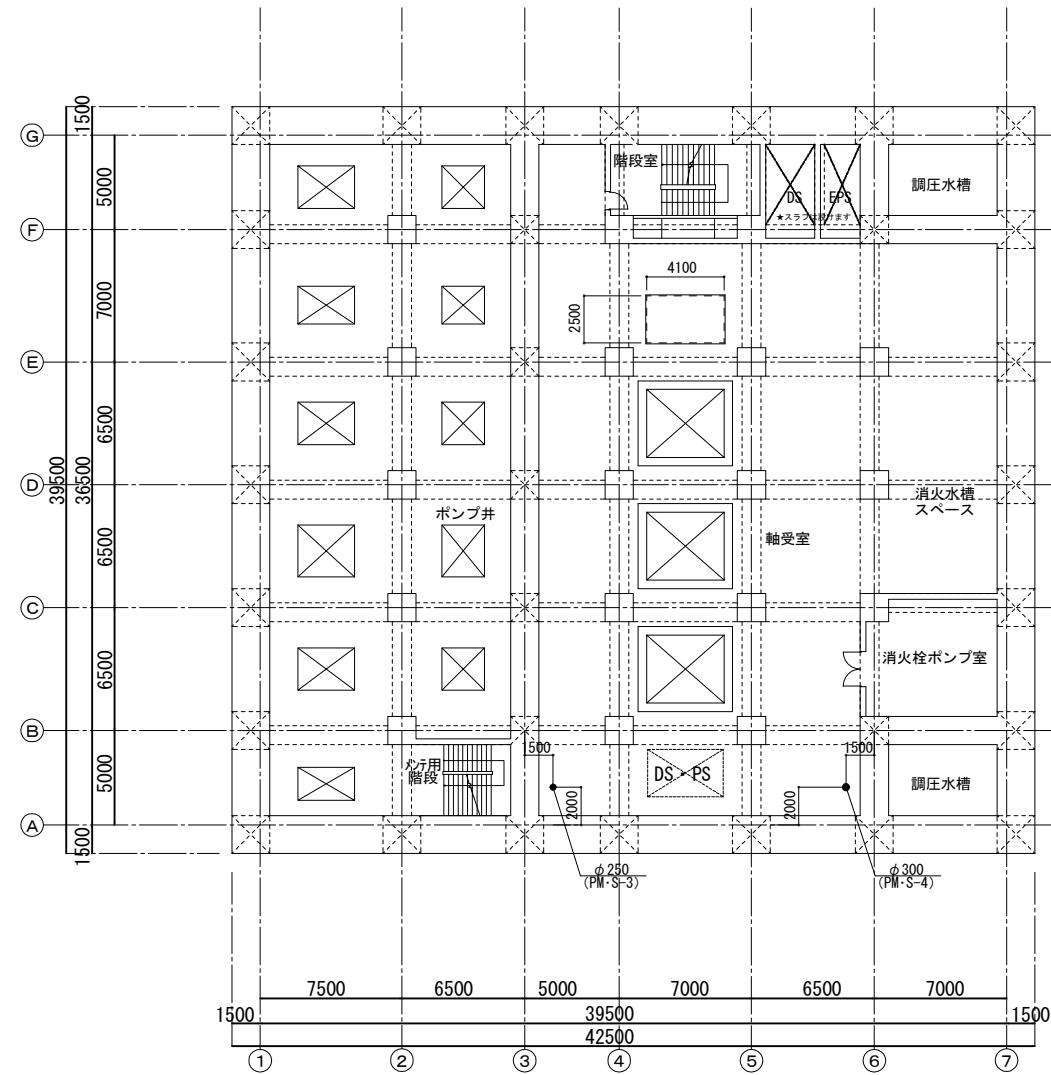
C-C 断面図 1/200



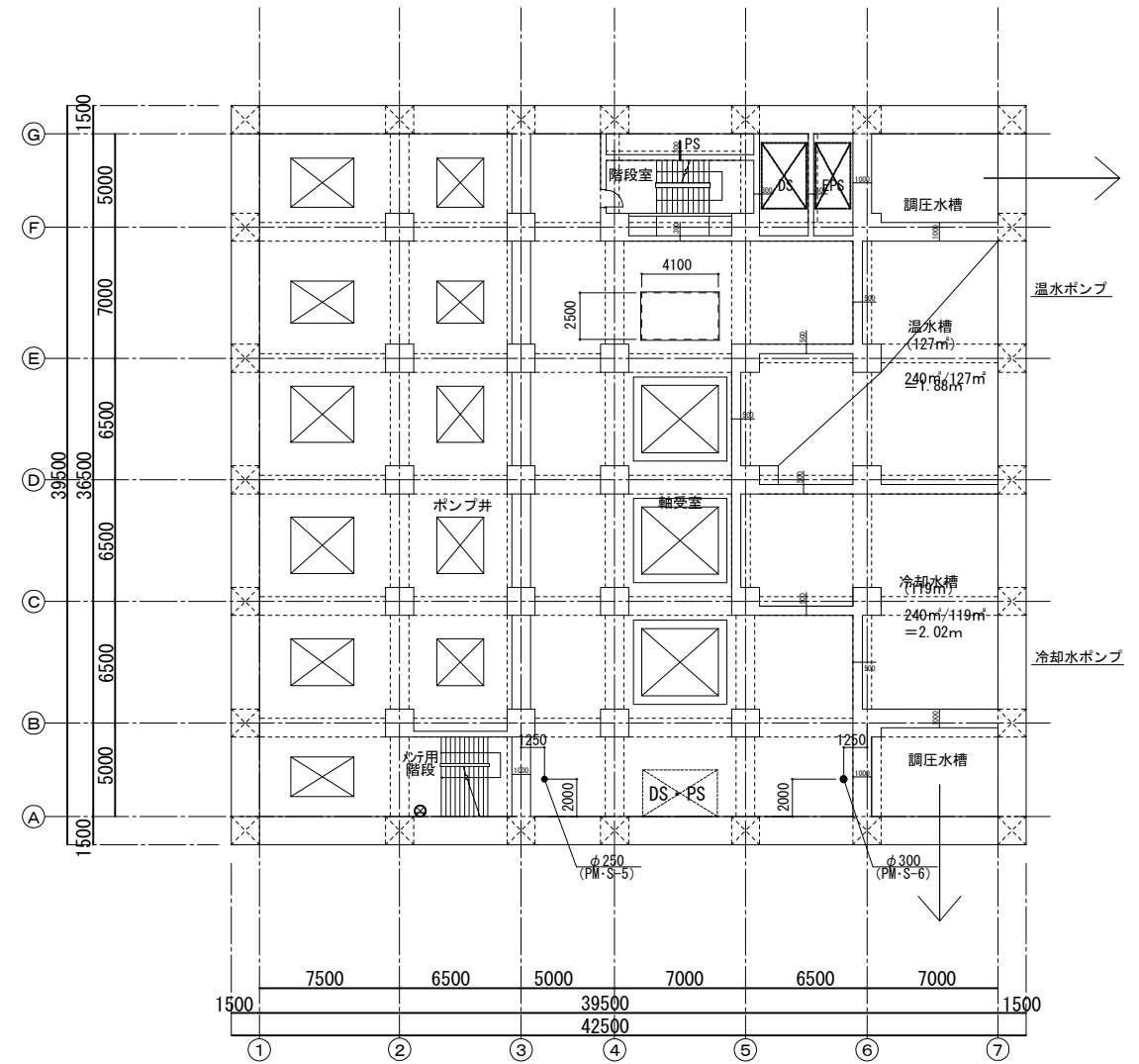
地下3階平面図 1/200 (A3)

注) 貫通レベル及び機械基礎は仮決めます。

工事名	桂川右岸流域下水道 洛西浄化センター建設工事 (呑龍ポンプ場 土木)
起工番号	流29桂川右岸防災安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市勝竜寺地内
図面種類	貫通及び埋込配管図 (1)
縮尺	
図面番号	D-26



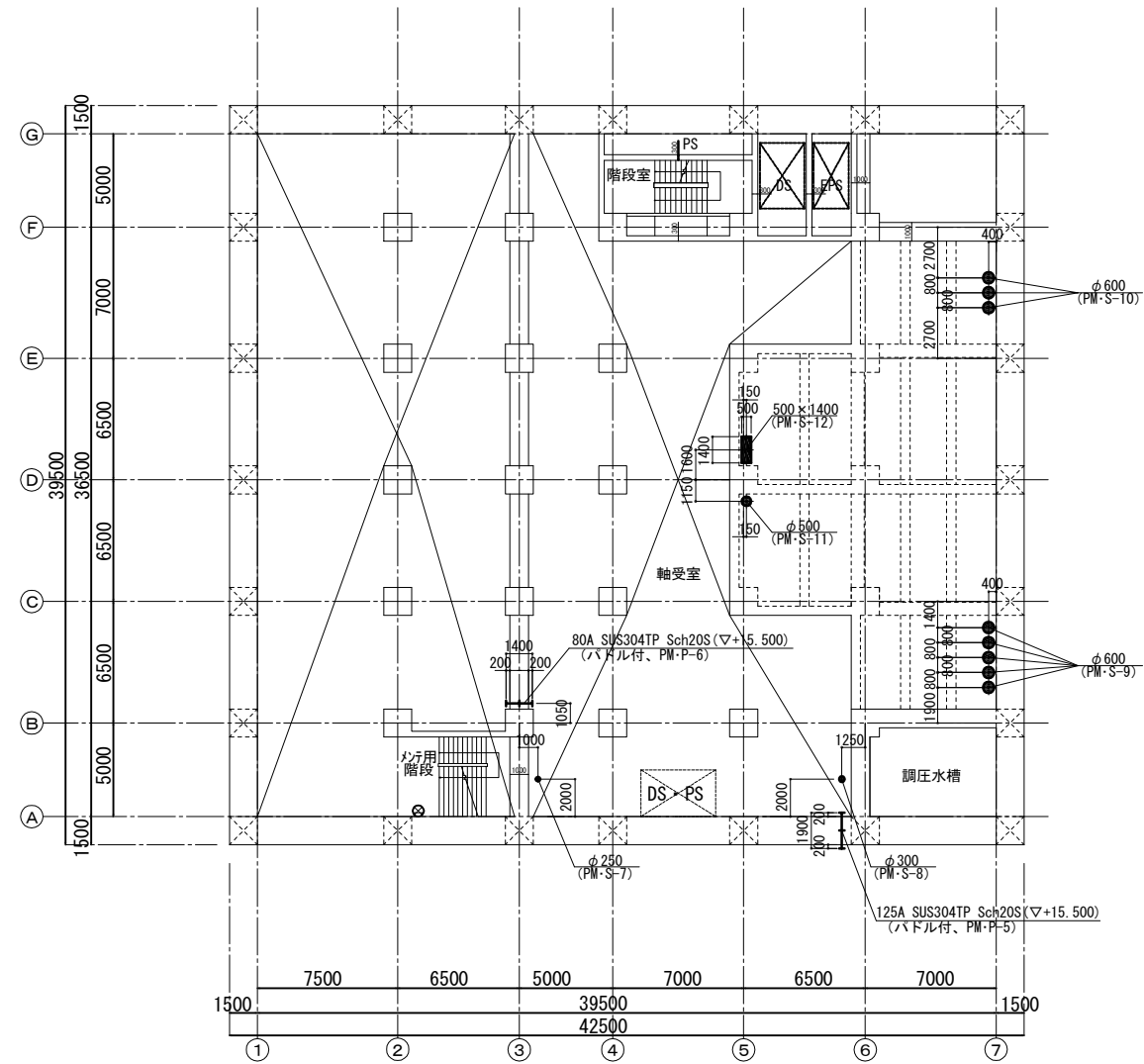
地下2階平面図 1/200



地下1階平面図 1/200

注) 貫通レベル及び機械基礎は仮決めます。

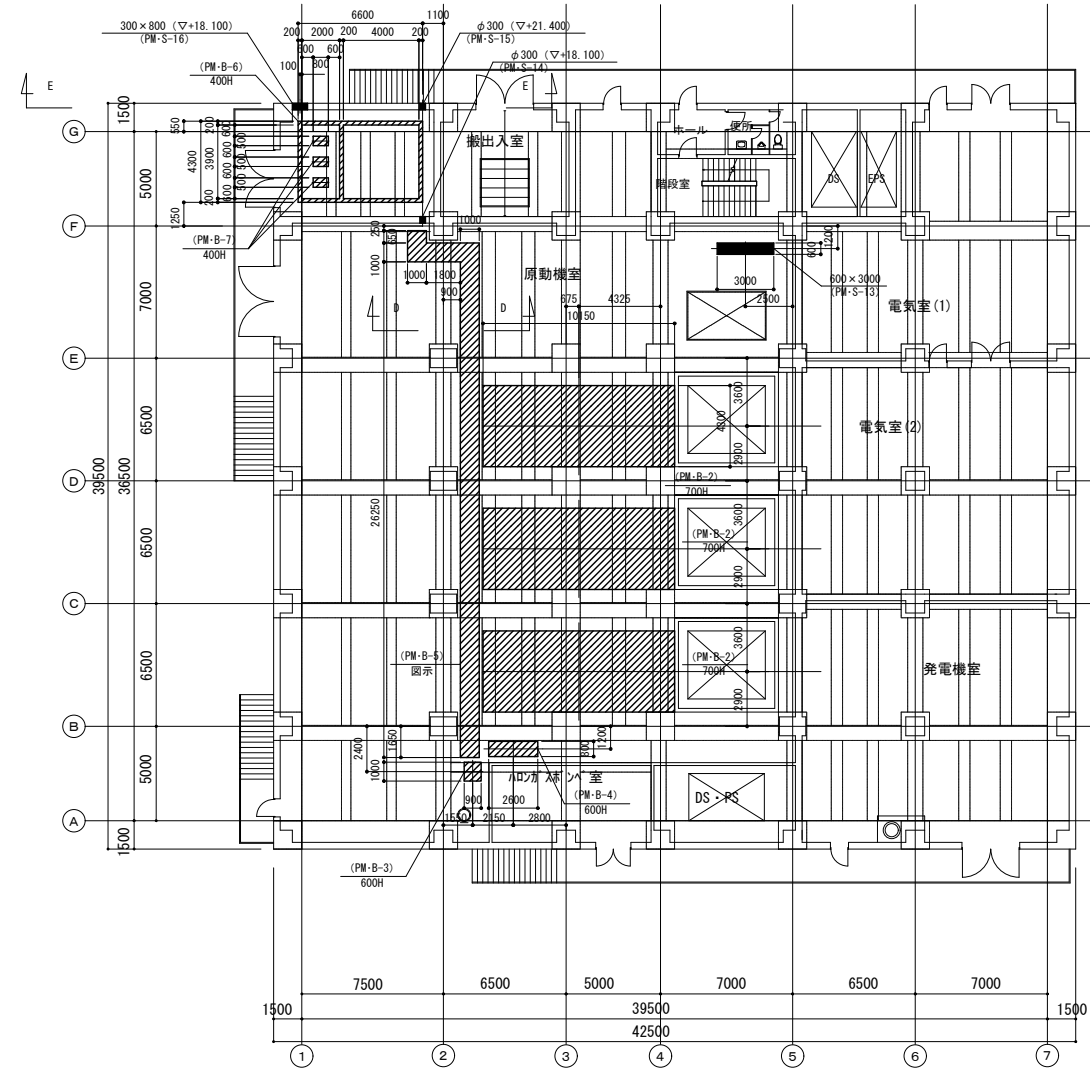
工事名	桂川右岸流域下水道 洛西浄化センター建設工事 (呑龍ポンプ場 土木)
起工番号	流29桂川右岸防災安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市勝竜寺地内
図面種類	貫通及び埋込配管図(2)
縮尺	
図面番号	D-27



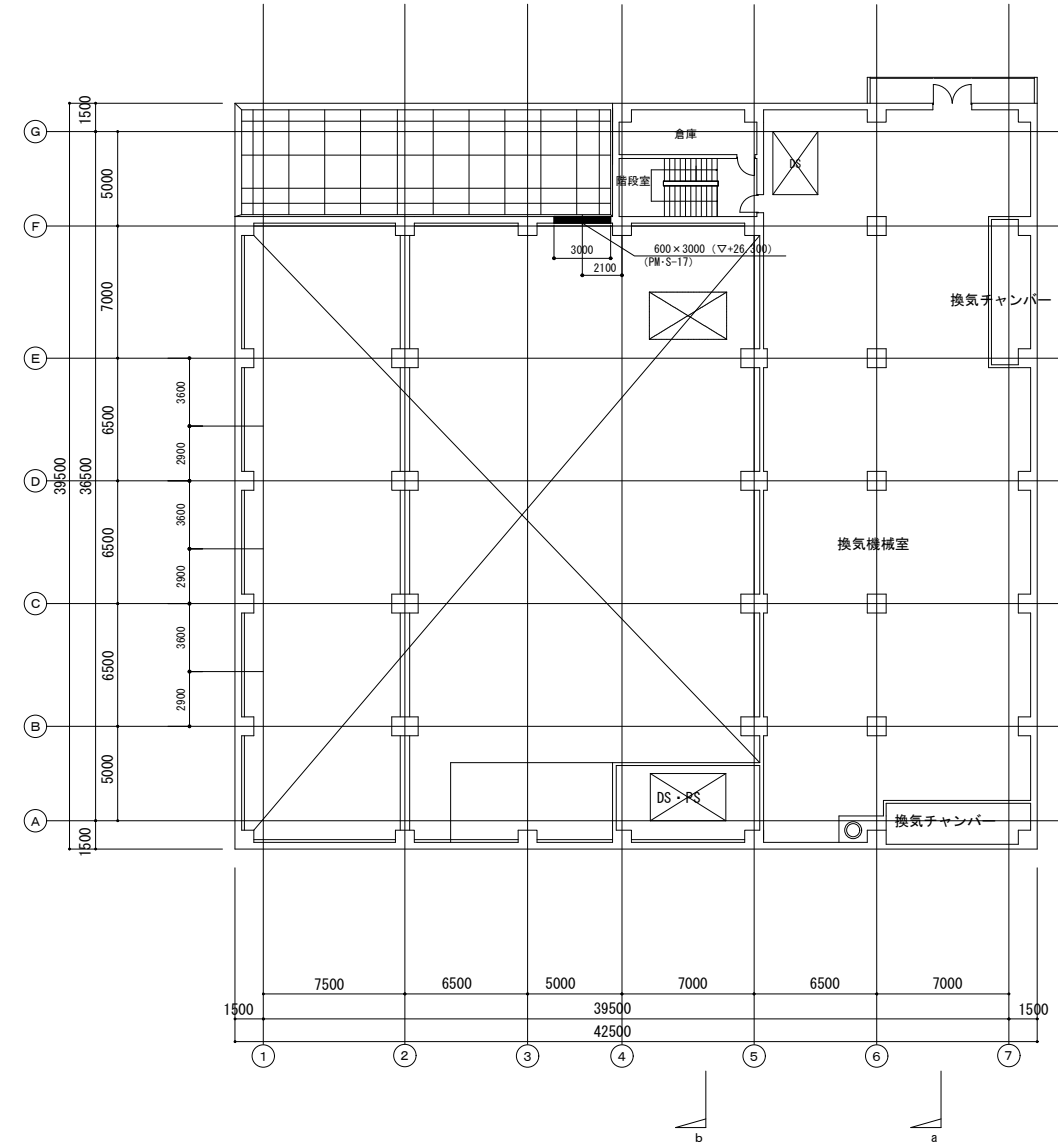
地下1階(上部)平面図 1/200

注) 貫通レベル及び機械基礎は仮決めます。

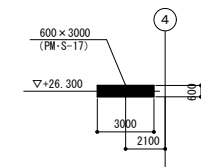
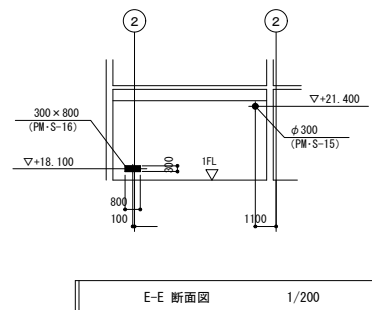
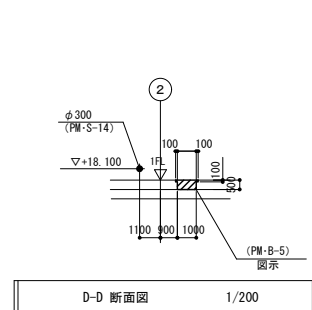
工事名	桂川右岸流域下水道 洛西浄化センター建設工事 (呑龍ポンプ場 土木)
起工番号	流29桂川右岸防災安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市勝竜寺地内
図面種類	貫通及び埋込配管図(3)
縮尺	
図面番号	D-28



1階平面図 1/200



2階平面図 1/200



注) 貫通レベル及び機械基礎は仮決めです。

工事名	桂川右岸流域下水道 洛西浄化センター建設工事 (呑龍ポンプ場 土木)
起工番号	流29桂川右岸防災安全(雨水) 第6000の51号の1の1
施工箇所	長岡京市勝竜寺地内
図面種類	貫通及び埋込配管図(4)
縮尺	
図面番号	D-29